

加賀須野橋可動橋

点検表（年次）

（開閉装置・電気設備）

点検総括表 (年点検)

該当ページ	装置	可動橋状態	チェック欄	確認日	確認者	備考
1～8	右岸 開閉装置	停止中		年 月 日		①～⑰、⑳～㉔
9～10	右岸 機側操作盤	停止中		年 月 日		動力制御盤 ㉕
11～12	右岸 主電動機盤	停止中		年 月 日		
13～14	右岸 予備電動機盤	停止中		年 月 日		
15～16	右岸 制御分電盤	停止中		年 月 日		
17	右岸 照明分電盤	停止中		年 月 日		㉗
18～25	左岸 開閉装置	停止中		年 月 日		①～⑰、⑳～㉔
26～27	左岸 機側操作盤	停止中		年 月 日		動力制御盤 ㉕
28～29	左岸 主電動機盤	停止中		年 月 日		
30～31	左岸 予備電動機盤	停止中		年 月 日		
32～33	左岸 制御分電盤	停止中		年 月 日		
34	左岸 照明分電盤	停止中		年 月 日		㉗
35～41	監視操作卓	停止中		年 月 日		㉘
42～49	警報監視設備	停止中		年 月 日		㉙～㉛
50～55	高圧受配電設備	停止中		年 月 日		⑱
	非常用発電設備	停止中		年 月 日		⑲
56～57	右岸 開閉装置	昇降中		年 月 日		①～⑰、⑳～㉔
58～62	右岸 機側操作盤	昇降中		年 月 日		動力制御盤 ㉕
63	右岸 主電動機盤	昇降中		年 月 日		
64	右岸 予備電動機盤	昇降中		年 月 日		
65	右岸 制御分電盤	昇降中		年 月 日		
66～67	左岸 開閉装置	昇降中		年 月 日		①～⑰、⑳～㉔
68～72	左岸 機側操作盤	昇降中		年 月 日		動力制御盤 ㉕
73	左岸 主電動機盤	昇降中		年 月 日		
74	左岸 予備電動機盤	昇降中		年 月 日		
75	左岸 制御分電盤	昇降中		年 月 日		
76～78	監視操作卓	昇降中		年 月 日		㉘
79	右岸 機側操作盤	電源 断		年 月 日		動力制御盤 ㉕
80	右岸 主電動機盤	電源 断		年 月 日		
81	右岸 予備電動機盤	電源 断		年 月 日		
82	右岸 制御分電盤	電源 断		年 月 日		

該当 ページ	装置	可動橋状態	チェック欄	確認日	確認者	備考
83	右岸 照明分電盤	電源 断		年 月 日		㉓
84	左岸 機側操作盤	電源 断		年 月 日		動力制御盤 ㉒
85	左岸 主電動機盤	電源 断		年 月 日		
86	左岸 予備電動機盤	電源 断		年 月 日		
87	左岸 制御分電盤	電源 断		年 月 日		㉑
88	左岸 照明分電盤	電源 断		年 月 日		㉓
89	監視操作卓	電源 断		年 月 日		㉒
90～95	高圧受配電設備	電源 断		年 月 日		㉘
	非常用発電設備	電源 断		年 月 日		㉙

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
全体	外観	清掃状態	ひどい汚れや油等の付着がないこと(目視)。	有・無	清掃	
	塗装	損傷・劣化	亀裂、ふくれ、剥離、発錆、劣化のないこと(目視)。	有・無	補修	
	ボルト・ナット (⑤、⑦、⑧、④、④)	ゆるみ・脱落	ゆるみ、脱落がないこと。	有・無	増締	
	溶接部	われ	溶接割れがないこと(目視)。	有・無	原因調査	
台板	上流側ドラム台板	たわみ・変形	構造全体にそり、ひずみや局所的な曲がり、凹み等の変形がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	下流側ドラム台板	たわみ・変形	構造全体にそり、ひずみや局所的な曲がり、凹み等の変形がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	機械台板	たわみ・変形	構造全体にそり、ひずみや局所的な曲がり、凹み等の変形がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
動力部	主電動機(③)	絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上。	有・無	原因調査	
		内部状態	軸受、パッキン、コイル等の構成部品に損傷、摩耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	予備電動機(④)	絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上。	有・無	原因調査	
		内部状態	軸受、パッキン、コイル等の構成部品に損傷、摩耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
制動部	電磁ブレーキ (主電動機側)(⑤)	ライニングの隙間	ドラムとライニングの隙間が0.4~0.8mm であること。 計測値 _____ mm	有・無	調整	調整については別途整備作業
		ライニングの磨耗	ライニングの残り厚さが2mm以上であること。 計測値 _____ mm	有・無	交換	交換については別途整備作業
		ドラムの磨耗	割れや傷が無く、著しい磨耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
		連結ピンの磨耗、焼付き	連結ピンに磨耗・焼付きがないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	油圧押し上ブレーキ (主電動機側)(⑥)	ドラムの表面	油などが付着していないこと。	有・無	清掃	
		作動確認	確実に作動し、瞬時に停止すること。	有・無	調整	
		ゆるみ・脱落	各ネジ部にゆるみがないこと。	有・無	増締	
		ライニングの磨耗	ライニングの残り厚さが5mm以上であること。 計測値 _____ mm	有・無	交換	交換については別途整備作業

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
制動部	油圧押し上ブレーキ (主電動機側) (⑥)	ミューリフタのストローク	指針がインジケータの「要調整」を指していないこと。	有・無	調整	
		ライニング隙間の左右バランス	ドラムとライニングの隙間が左右で-0.2mm~+0.2mmであること。 計測値 _____ mm	有・無	調整	調整については別途整備作業
		ドラムの摩耗	割れや傷が無く、著しい摩耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
		油漏れ	油漏れがないこと。	有・無	原因調査 補給	
		作動油量	規定内であること。	有・無	交換	5年1回交換
		電気絶縁油	劣化していないこと	有・無	交換	交換については別途整備作業
		ピン	注油すること。動作確認し、異常があれば交換すること。	有・無	補給 交換	10年1回整備 交換については別途整備作業
		内部状態	軸受等の構成部品に損傷がないこと。	有・無	交換	10年1回整備 交換については別途整備作業
	電磁ブレーキ (予備電動機側) (⑦)	ライニングの隙間	ドラムとライニングの隙間が0.4~0.8mmであること。 計測値 _____ mm	有・無	調整	調整については別途整備作業
		ライニングの磨耗	ライニングの残り厚さが2mm以上であること。 計測値 _____ mm	有・無	交換	交換については別途整備作業
		ドラムの摩耗	割れや傷が無く、著しい摩耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
		連結ピンの摩耗、焼付き	連結ピンに摩耗・焼付きがないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	油圧押し上ブレーキ (予備電動機側) (⑧)	ドラムの表面	油などが付着していないこと。	有・無	清掃	
		ゆるみ・脱落	各ネジ部にゆるみがないこと。	有・無	増締	
		ライニングの磨耗	ライニングの残り厚さが5mm以上であること。 計測値 _____ mm	有・無	交換	交換については別途整備作業
		ミューリフタのストローク	指針がインジケータの「要調整」を指していないこと。	有・無	調整	
		ライニング隙間の左右バランス	ドラムとライニングの隙間が左右で-0.2mm~+0.2mmであること。 計測値 _____ mm	有・無	調整	調整については別途整備作業
		ドラムの摩耗	割れや傷が無く、著しい摩耗がないこと。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
制動部	油圧押上ブレーキ (予備電動機側) (⑧)	油漏れ	油漏れがないこと。	有・無	原因調査 補給	
		作動油量	規定内であること。	有・無	交換	1年1回交換
		電気絶縁油	劣化していないこと	有・無	交換	交換については別途整備作業
		ピン	注油すること。動作確認し、異常があれば交換すること。	有・無	補給 交換	10年1回整備 交換については別途整備作業
		内部状態	軸受等の構成部品に損傷がないこと。	有・無	交換	10年1回整備 交換については別途整備作業
減速装置	減速機(②)	油漏れ	油漏れがないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		潤滑油量	油面計の規定内であること。	有・無	補給	
		潤滑油劣化	劣化していないこと	有・無	交換	1年1回交換
		内部状態	点検カバーを外し、内部の状態(歯車)を目視し、異常がないこと。	有・無	交換	
	ドラムギヤ ピニオンギヤ	歯面の摩耗	異常な摩耗、割れがないこと。	有・無	交換	
	ドラムギヤ ピニオンギヤ	歯当り噛合い	適正な当たりがあること (有効歯幅164mmの70%以上)	有・無	調整	調整については別途整備作業
		歯こぼれ	歯こぼれがないこと	有・無	原因調査	
		バックラッシ	0.41mm～1.63mmであること	有・無	調整	調整については別途整備作業
油量		歯車にまんべんなく油膜があること(目視)。	有・無	補給	夜間通行止め規制作業	
動力伝達部	軸受	給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		摩耗	摩耗がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	ギヤカップリング (⑫)	給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	交換	1年1回交換
	チェーン カップリング(⑬)	給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		内部状態	パッキン等の構成部品に損傷、摩耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
橋体駆動部	ドラム	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		磨耗	ワヤ溝部に著しい磨耗がないこと。	有・無	原因調査	
	ドラム軸	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	ドラムロープ端末	緩み・脱落	ボルト・ナットの緩み、脱落がないこと。	有・無	増締	
	橋体付シーブ (上流側) (㊸)	溝部の摩耗・損傷	ワヤ溝部、ツバに著しい摩耗、 損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査 補修	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		軸・軸受	摩耗、損傷がないこと(目視)。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	橋体付シーブ (下流側) (㊹)	溝部の摩耗・損傷	ワヤ溝部、ツバに著しい摩耗、 損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査 補修	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		軸・軸受	摩耗、損傷がないこと(目視)。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	転向シーブ (上流側) (㊺)	溝部の摩耗・損傷	ワヤ溝部、ツバに著しい摩耗、損傷がないこと (目視)。	有・無	原因調査 補修	補修については別途整備作業
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		軸・軸受	摩耗、損傷がないこと(目視)。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	転向シーブ (下流側) (㊻)	溝部の摩耗・損傷	ワヤ溝部、ツバに著しい摩耗、 損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査 補修	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		軸・軸受	摩耗、損傷がないこと(目視)。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	昇降用 ワイヤロープ (上流側) (㊼)	ごみ・異物の付着	ごみ・砂塵等がロープに付着していないこと (目視)。	有・無	清掃	清掃・交換については別途整備作業
		変形・発錆	ストラット、又は素線の不規則な飛び出し、部分的 な籠状、キック、及び発錆がないこと。	有・無	原因調査 補修 交換	補修、交換については別途整備作業
		摩耗	減少率が公称径の7%以下であること (φ37.2mm以上あること) 計測値 _____ mm	有・無	原因調査 交換	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
橋体駆動部	昇降用 ワイヤロープ (上流側) ①	素線切れ	異常な素線切れが無いこと (ストランドの1ピッチ間に3.6本未満)	有・無	原因調査 交換	交換については別途整備作業
		グリース	ロープ表面に触れてベタツク程度の油気があること。	有・無	交換 補給	1年1回増し塗り 2年1回塗り直し
		内部状態	内部に腐食、発錆や損傷がないこと。	有・無	清掃 交換	清掃・交換については別途整備作業
	昇降用 ワイヤロープ (下流側) ①	ごみ・異物の付着	ごみ・砂塵等がロープに付着していないこと(目視)。	有・無	清掃	清掃・交換については別途整備作業
		変形・発錆	ストラット、又は素線の不規則な飛び出し、部分的な籠状、キック、及び発錆がないこと。	有・無	原因調査 補修 交換	補修、交換については別途整備作業
		摩耗	減少率が公称径の7%以下であること (φ37.2mm以上あること) 計測値 _____ mm	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業
		素線切れ	異常な素線切れが無いこと (ストランドの1ピッチ間に3.6本未満)	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業
		グリース	ロープ表面に触れてベタツク程度の油気があること。	有・無	交換 補給	1年1回増し塗り 2年1回塗り直し
		内部状態	内部に腐食、発錆や損傷がないこと。	有・無	清掃 交換	清掃・交換については別途整備作業
	カウンター ウェイト用 ワイヤロープ (上流側) ⑬	ごみ・異物の付着	ごみ・砂塵等がロープに付着していないこと(目視)。	有・無	清掃	清掃については別途整備作業
		変形・発錆	ストラット、又は素線の不規則な飛び出し、部分的な籠状、キック、及び発錆がないこと。	有・無	原因調査 補修 交換	補修、交換については別途整備作業
		摩耗	減少率が公称径の7%以下であること (φ49.3mm以上あること) 計測値 (上流より) ① _____ mm ② _____ mm ③ _____ mm ④ _____ mm	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業
		素線切れ	異常な素線切れが無いこと (ストランドの1ピッチ間に3.6本未満)	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業
		グリース	ロープ表面に触れてベタツク程度の油気があること。	有・無	交換 補給	1年1回増し塗り 2年1回塗り直し
		内部状態	内部に腐食、発錆や損傷がないこと。	有・無	清掃 交換 補給	清掃・交換については別途整備作業
	カウンター ウェイト用 ワイヤロープ (下流側) ⑭	ごみ・異物の付着	ごみ・砂塵等がロープに付着していないこと(目視)。	有・無	清掃	清掃については別途整備作業
		変形・発錆	ストラット、又は素線の不規則な飛び出し、部分的な籠状、キック、及び発錆がないこと。	有・無	原因調査 補修 交換	補修、交換については別途整備作業
		摩耗	減少率が公称径の7%以下であること (φ49.3mm以上あること) 計測値 (上流より) ① _____ mm ② _____ mm ③ _____ mm ④ _____ mm	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業
		素線切れ	異常な素線切れが無いこと(ストランドの1ピッチ間に3.6本未満)	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
橋体駆動部	カウンター ウェイト用 ワイヤロープ (下流側) (15)	グリース	ロープ表面に触れてベタツク程度の油気があること。	有・無	交換 補給	1年1回増し塗り 2年1回塗り直し
		内部状態	内部に腐食、発錆や損傷がないこと。	有・無	清掃 交換 補給	清掃・交換については別途整備作業
	カウンター ウェイト (上流側)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	イコライザ軸 (上流側)	給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	補給については別途整備作業
	ターンバックル (上流側) (16)、(40)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		ピン	割りピンがはずれていないこと。	有・無	補給 交換	
	カウンター ウェイト (下流側)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	イコライザ軸 (下流側)	給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	補給については別途整備作業
	ターンバックル (下流側) (16)、(40)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		ピン	割りピンがはずれていないこと。	有・無	補給	
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、上流側) (43)	摩耗	摩耗がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、上流側) (43)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	補修、交換については別途整備作業
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、下流側) (43)	摩耗	摩耗がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、下流側) (43)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	補修、交換については別途整備作業
	サイドローラ、 軸、軸受 (カウンターウェイト付、上流側) (39)	摩耗	摩耗がないこと(目視)。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
橋体駆動部	サイドローラ、 軸、軸受 (カウンターウェイト付、上流側) (9)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	補修、交換については別途整備作業
	サイドローラ、 軸、軸受 (カウンターウェイト付、下流側) (9)	摩耗	摩耗がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	補修、交換については別途整備作業
	ローラレール (上流側)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	補修	補修、交換については別途整備作業
	ローラレール (下流側)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	補修	補修、交換については別途整備作業
	道路遮断柵	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	補修	補修、交換については別途整備作業
保護装置	ワイヤーロープ端 末調整装置 (上流側) (11)	ロックナット	緩みがないこと。	有・無	増締	
	ワイヤーロープ端 末調整装置 (上流側) (11)	ソケット	割りピンがはずれていないこと。	有・無	補給	
		ロープ長さ	閉時の左右ロープの緩みが、適正、且つ同一であること。	有・無	調整	
	ワイヤーロープ端 末調整装置 (下流側) (11)	ロックナット	緩みがないこと。	有・無	増締	
	ワイヤーロープ端 末調整装置 (下流側) (11)	ソケット	割りピンがはずれていないこと。	有・無	補給	
		ロープ長さ	閉時の左右ロープの緩みが、適正、且つ同一であること。	有・無	調整	調整については別途整備作業
リミットスイッチ (ロープゆるみ、 過負荷、非常上 限、休止フック 着・脱用) (12)、(13)	変形・損傷	曲がり、変形、及び著しい損傷がないこと。	有・無	交換		
	作動確認	模擬にて動作確認を行い、正常に作動すること。	有・無	調整	3年1回定期点検	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
保護装置	制限開閉器(⑩)	変形・損傷	曲がり、変形、及び著しい損傷がないこと。	有・無	交換	
		内部状態	歯車の摩耗状態、各シール部分の点検し、異常がないこと。必要に応じ、歯車、Oリング等にグリースを補給すること。	有・無	交換 補給	
	制限開閉器(⑩)	絶縁抵抗値	DC500Vメガーで1MΩ以上であること。	有・無	原因を調査し 整備	
	チェーン・スプロケット(⑳)	変形・損傷	曲がり、変形、及び著しい損傷がないこと。	有・無	交換	
休止装置	休止装置(上流側)	作動確認	休止操作が円滑に行え、ゲート本体が干渉することなく正常な休止状態が確保できること。	有・無	調整	調整については別途整備作業
	休止装置(上流側)	軸受給脂状態	適量の油量が供給されていること。	有・無	補給	
	スクリー ジャッキ (上流側)(⑰)	油量(減速部)	油面計の規定内であること。	有・無	補給	
		潤滑油劣化(減速部)	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		給脂状態(スクリュ部)	劣化していないこと	有・無	交換	
		リミットスイッチ			交換	10年1回交換
	休止装置(下流側)	作動確認	休止操作が円滑に行え、ゲート本体が干渉することなく正常な休止状態が確保できること。	有・無	調整	調整については別途整備作業
	休止装置(下流側)	軸受給脂状態	適量の油量が供給されていること。	有・無	補給	
	スクリー ジャッキ (下流側)(⑰)	油量(減速部)	油面計の規定内であること。	有・無	補給	
		潤滑油劣化(減速部)	劣化していないこと	有・無	交換	
		給脂状態(スクリュ部)	劣化していないこと	有・無	交換	
		リミットスイッチ			交換	10年1回交換
スタンド式 開度計	全般	清掃状態	ひどい汚れ、油の付着がないこと。	有・無	清掃	
	表示部	くもり	前面透視板の透明度が良好であればよい	有・無	清掃	
	絶縁抵抗	絶縁抵抗値	DC500Vメガーで1MΩ以上であること。	有・無	原因を調査し 整備	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		扉の施錠状態	扉の施錠に支障がないこと。	有・無	調整	
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
開閉器類	スペースヒータ (SH1, TH11)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 20℃)を変更し, 外気 温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく 放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
タイ マー	タイマー (FRT)	目視・状態点検	設定値を確認。(設定値: 0.5秒)	有・無	調整	
	タイマー (BZT)	目視・状態点検	設定値を確認。(設定値: 1分)	有・無	調整	
	タイマー (BLT)	目視・状態点検	設定値を確認。(設定値: 1分)	有・無	調整	
P L C	電源ユニット	電源端子部の 電圧確認	メーカー推奨範囲(AC85~132V)以内であること。	有・無	原因調査	
	バッテリー	使用年数の確認	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(3 年)以上またはPLCの自己診断機能によりバッテ リ電圧低下している場合は交換。	有・無	交換	3年1回交換
	ヒューズ	使用年数の確認	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(10 年)以上であれば交換。	有・無	交換	
	CPU ユニット	エラー履歴の確認	PLCローディングツールを利用してPC診断を 行い, エラー発生のないこと。	有・無	原因調査	
	I/Oユニット	エラー履歴の確認	PLCローディングツールを利用してPC診断を 行い, エラー発生のないこと。	有・無	原因調査	
	CCLinkユニット	エラー履歴の確認	PLCローディングツールを利用してPC診断を 行い, エラー発生のないこと。	有・無	原因調査	
表 示 灯	故障表示	目視・状態点検	共通状態表示灯で故障が点灯していないこと。	有・無	原因調査	
			右岸機側操作盤状態表示灯で故障が点灯してい ないこと。	有・無	原因調査	
	盤内蛍光灯	点灯・球切れ	点灯すること。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動作	模擬テスト	制御電源	MCCB03を投入し、テスターにて電圧計測を行う。「制御電源」が点灯し、規定電圧(99～121V)以内であること。電圧計測値：_____ V	有・無	原因調査	
		ランプテスト	表示灯切替スイッチで【ランプテスト】を選択し、全表示灯点灯すること。	有・無	交換	
		コンセント	MCCB53を投入し、テスターにて電圧計測を行う。規定電圧(99～121V)以内であること。電圧計測値：_____ V	有・無	原因調査	
		機側操作盤 盤内灯	MCCB54を投入し、機側操作盤の大扉を開/閉すると蛍光灯が点灯/消灯すること。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸主電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		扉の施錠状態	扉の施錠に支障がないこと。	有・無	調整	
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
開閉器類	スペースヒータ (TH21)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 20℃)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
	ファン (TH22)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 35℃)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し、ファンの回転を確認。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA1R)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA1S)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA1T)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
計器類	電流計 (A1)	0点確認	運転停止時に0点を指示していること。	有・無	調整	
ヒューズ	ヒューズ (F11)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	ヒューズ (F12)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	ヒューズ (F13)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
インバータ	タッチパネル (INV1)	表示が見えにくくないか 文字などが欠けていないか	表示が読めて異常がないこと。	有・無	交換	
	冷却ファン	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	原因調査	
	主回路	ボルト類の緩み・脱落	緩みがなければ良い。	有・無	調整	
		導体、機器や絶縁物の変形・破損・変色	発錆, 変形などがなければよい。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸主電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
バイ ン タ	主回路	コンデンサの液漏れ、安全弁の状態	液漏れがないこと、安全弁が出ていないこと。	有・無	原因調査	
表 示 灯	故障表示	目視・状態点検	右岸主電動機盤状態表示灯で故障が点灯していないこと。	有・無	原因調査	
	盤内蛍光灯	点灯・球切れ	点灯すること。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸予備電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆、塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		扉の施錠状態	扉の施錠に支障がないこと。	有・無	調整	
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
開閉器類	スペースヒータ (TH31)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 20℃)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
	ファン (TH32)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 35℃)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し、ファンの回転を確認。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA2R)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA2S)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA2T)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
計器類	電流計 (A2)	0点確認	運転停止時に0点を指示していること。	有・無	調整	
ヒューズ	ヒューズ (F21)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	ヒューズ (F22)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	ヒューズ (F23)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
インバータ	タッチパネル (INV2)	表示が見えにくくないか 文字などが欠けていないか	表示が読めて異常がないこと。	有・無	交換	
	冷却ファン	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	原因調査	
	主回路	ボルト類の緩み・脱落	緩みがなければ良い。	有・無	調整	
		導体、機器や絶縁物の変形・破損・変色	発錆、変形などがなければよい。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸予備電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
バイ ン タ	主回路	コンデンサの液漏れ、安全弁の状態	液漏れがないこと、安全弁が出ていないこと。	有・無	原因調査	
表示灯	故障表示	目視・状態点検	右岸予備電動機盤状態表示灯で故障が点灯していないこと。	有・無	原因調査	
	盤内蛍光灯	点灯・球切れ	点灯すること。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸制御分電盤】②

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		扉の施錠状態	扉の施錠に支障がないこと。	有・無	調整	
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
開閉器類	電磁接触器 (MC5)	目視・状態点検	接点に変色がないこと、溶着がないこと。	有・無	交換	
	スペースヒータ (TH11)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 20°C)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
	ファン (TH22)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 35°C)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し、ファンの回転を確認。	有・無	交換	
ヒューズ	ヒューズ (F01)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
UPS	セルフテスト	作動テスト	セルフテストを行い、動作確認および充電状況を確認し正常であること。	有・無	原因調査	
	バッテリー	使用年数の確認	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(5年)以上または本体のバッテリーランプが点灯している場合は交換。	有・無	交換	
表示灯	故障表示	目視・状態点検	右岸制御分電盤状態表示灯で故障が点灯していないこと。	有・無	原因調査	
	盤内蛍光灯	点灯・球切れ	点灯すること。	有・無	交換	
動作	模擬テスト	ランプテスト	表示灯切替スイッチで【ランプテスト】を選択し、全表示灯点灯すること。	有・無	原因調査	
		表示灯消灯	表示灯切替スイッチで【切】を選択し、全表示灯消灯すること。	有・無	原因調査	
		制御電源主幹	MCCB01を投入し、テスターにて電圧計測を行う (TR二次側)。規定電圧(99~121V)以内であること。指示値: _____ V	有・無	原因調査	
		コンセント	CP173を投入し、テスターにて電圧計測を行う。規定電圧(99~121V)以内であること。指示値: _____ V	有・無	原因調査	
		制御漏電	漏電リレー(51G1)をテスト動作させ、漏電表示LED点灯すること(リレー本体の表示灯)。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸制御分電盤】②

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動作	模擬テスト	補機漏電	漏電遮断器 (ELCB17) をトリップさせ、蛍光灯消灯、ファン・スペースヒータ停止、コンセント電圧0Vとなること。	有・無	原因調査	
		UPS異常	UPS バッテリ低下を発生させ、「UPS異常」点灯すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸照明分電盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		扉の施錠状態	扉の施錠に支障がないこと。	有・無	調整	
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
計器類	電圧計 (V1)	電圧値	電圧が定格電圧の±10% (99~121V) 以内であること。 <u>電圧計指示値: _____ V (R-N)</u>	有・無	原因調査	
	電圧計 (V1)	電圧値	電圧が定格電圧の±10% (99~121V) 以内であること。 <u>電圧計指示値: _____ V (N-T)</u>	有・無	原因調査	
	電圧計 (V1)	電圧値	電圧が定格電圧の±10% (198~242V) 以内であること。 <u>電圧計指示値: _____ V (T-R)</u>	有・無	原因調査	
開閉器類	スペースヒータ (TH1)	作動テスト	サーモスタットの設定(設定値: 20℃)を変更し, 外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
表示灯	故障表示	目視・状態点検	右岸照明分電盤状態表示灯で故障が点灯していないこと。	有・無	原因調査	
動作	模擬テスト	機械室空調電源	ELCB01を投入し、テスターで端子間 (U01-W01) の電圧測定を行う。規定電圧(198~242V)以内であること。 <u>指示値: _____ V</u>	有・無	原因調査	
		機械室照明電源	ELCB07を投入し、テスターで端子間 (W07-N07) の電圧測定を行う。規定電圧(99~121V)以内であること。 <u>指示値: _____ V</u>	有・無	原因調査	
		機械室コンセント電源	ELCB08を投入し、テスターで端子間 (U08-N08) の電圧測定を行う。規定電圧(99~121V)以内であること。 <u>指示値: _____ V</u>	有・無	原因調査	
		MCCBトリップ	電源主幹ブレーカ (MCCB01) をトリップさせ、「MCCBトリップ」点灯すること。	有・無	原因調査	
		漏電	漏電遮断器 (ELCB01~11) をトリップさせ、「漏電」点灯すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
全体	外観	清掃状態	ひどい汚れや油等の付着がないこと(目視)。	有・無	清掃	
	塗装	損傷・劣化	亀裂、ふくれ、剥離、発錆、劣化のないこと(目視)。	有・無	補修	
	ボルト・ナット (⑤、⑦、⑧、④、 ④)	ゆるみ・脱落	ゆるみ、脱落がないこと。	有・無	増締	
	溶接部	われ	溶接割れがないこと(目視)。	有・無	原因調査	
台板	上流側ドラム台板	たわみ・変形	構造全体にそり、ひずみや局所的な曲がり、凹み等の変形がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	下流側ドラム台板	たわみ・変形	構造全体にそり、ひずみや局所的な曲がり、凹み等の変形がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	機械台板	たわみ・変形	構造全体にそり、ひずみや局所的な曲がり、凹み等の変形がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
動力部	主電動機(③)	絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上。	有・無	原因調査	
		内部状態	軸受、パッキン、コイル等の構成部品に損傷、摩耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	予備電動機(④)	絶縁抵抗	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上。	有・無	原因調査	
		内部状態	軸受、パッキン、コイル等の構成部品に損傷、摩耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
制動部	電磁ブレーキ (主電動機側)(⑤)	ライニングの隙間	ドラムとライニングの隙間が0.4~0.8mm であること。 計測値 _____ mm	有・無	調整	調整については別途整備作業
		ライニングの磨耗	ライニングの残り厚さが2mm以上であること。 計測値 _____ mm	有・無	交換	交換については別途整備作業
		ドラムの磨耗	割れや傷が無く、著しい磨耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
		連結ピンの磨耗、焼付き	連結ピンに磨耗・焼付きがないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	油圧押し上ブレーキ (主電動機側)(⑥)	ドラムの表面	油などが付着していないこと。	有・無	清掃	
		作動確認	確実に作動し、瞬時に停止すること。	有・無	調整	
		ゆるみ・脱落	各ネジ部にゆるみがないこと。	有・無	増締	
		ライニングの磨耗	ライニングの残り厚さが5mm以上であること。 計測値 _____ mm	有・無	交換	交換については別途整備作業

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
制動部	油圧押上ブレーキ (主電動機側) (⑥)	ミューリフタのストローク	指針がインジケータの「要調整」を指していないこと。	有・無	調整	
		ライニング隙間の左右バランス	ドラムとライニングの隙間が左右で-0.2mm~+0.2mmであること。 計測値 _____ mm	有・無	調整	調整については別途整備作業
		ドラムの摩耗	割れや傷が無く、著しい摩耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
		油漏れ	油漏れがないこと。	有・無	原因調査 補給	
		作動油量	規定内であること。	有・無	交換	5年1回交換
		電気絶縁油	劣化していないこと	有・無	交換	交換については別途整備作業
		ピン	注油すること。動作確認し、異常があれば交換すること。	有・無	補給 交換	10年1回整備 交換については別途整備作業
		内部状態	軸受等の構成部品に損傷がないこと。	有・無	交換	10年1回整備 交換については別途整備作業
	電磁ブレーキ (予備電動機側) (⑦)	ライニングの隙間	ドラムとライニングの隙間が0.4~0.8mmであること。 計測値 _____ mm	有・無	調整	調整については別途整備作業
		ライニングの磨耗	ライニングの残り厚さが2mm以上であること。 計測値 _____ mm	有・無	交換	交換については別途整備作業
		ドラムの摩耗	割れや傷が無く、著しい摩耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
		連結ピンの摩耗、焼付き	連結ピンに摩耗・焼付きがないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	油圧押上ブレーキ (予備電動機側) (⑧)	ドラムの表面	油などが付着していないこと。	有・無	清掃	
		ゆるみ・脱落	各ネジ部にゆるみがないこと。	有・無	増締	
		ライニングの磨耗	ライニングの残り厚さが5mm以上であること。 計測値 _____ mm	有・無	交換	交換については別途整備作業
		ミューリフタのストローク	指針がインジケータの「要調整」を指していないこと。	有・無	調整	
		ライニング隙間の左右バランス	ドラムとライニングの隙間が左右で-0.2mm~+0.2mmであること。 計測値 _____ mm	有・無	調整	調整については別途整備作業
		ドラムの摩耗	割れや傷が無く、著しい摩耗がないこと。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
制動部	油圧押上ブレーキ (予備電動機側) (⑧)	油漏れ	油漏れがないこと。	有・無	原因調査 補給	
		作動油量	規定内であること。	有・無	交換	1年1回交換
		電気絶縁油	劣化していないこと	有・無	交換	交換については別途整備作業
		ピン	注油すること。動作確認し、異常があれば交換すること。	有・無	補給 交換	10年1回整備 交換については別途整備作業
		内部状態	軸受等の構成部品に損傷がないこと。	有・無	交換	10年1回整備 交換については別途整備作業
減速装置	減速機(②)	油漏れ	油漏れがないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		潤滑油量	油面計の規定内であること。	有・無	補給	
		潤滑油劣化	劣化していないこと	有・無	交換	1年1回交換
		内部状態	点検カバーを外し、内部の状態(歯車)を目視し、異常がないこと。	有・無	交換	
	ドラムギヤ ピニオンギヤ	歯面の摩耗	異常な摩耗、割れがないこと。	有・無	交換	
	ドラムギヤ ピニオンギヤ	歯当り噛合い	適正な当たりがあること (有効歯幅164mmの70%以上)	有・無	調整	調整については別途整備作業
		歯こぼれ	歯こぼれがないこと	有・無	原因調査	
		バックラッシ	0.41mm～1.63mmであること	有・無	調整	調整については別途整備作業
油量		歯車にまんべんなく油膜があること(目視)。	有・無	補給	夜間通行止め規制作業	
動力伝達部	軸受	給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		摩耗	摩耗がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	ギヤカップリング (⑫)	給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	交換	1年1回交換
	チェーン カップリング(⑬)	給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		内部状態	パッキン等の構成部品に損傷、摩耗がないこと。	有・無	交換	交換については別途整備作業

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
橋体駆動部	ドラム	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		磨耗	ワヤ溝部に著しい磨耗がないこと。	有・無	原因調査	
	ドラム軸	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	ドラムロープ端末	緩み・脱落	ボルト・ナットの緩み、脱落がないこと。	有・無	増締	
	橋体付シーブ (上流側) (㊸)	溝部の摩耗・損傷	ワヤ溝部、ツバに著しい摩耗、 損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査 補修	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		軸・軸受	摩耗、損傷がないこと(目視)。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	橋体付シーブ (下流側) (㊹)	溝部の摩耗・損傷	ワヤ溝部、ツバに著しい摩耗、 損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査 補修	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		軸・軸受	摩耗、損傷がないこと(目視)。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	転向シーブ (上流側) (㊺)	溝部の摩耗・損傷	ワヤ溝部、ツバに著しい摩耗、損傷がないこと (目視)。	有・無	原因調査 補修	補修については別途整備作業
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		軸・軸受	摩耗、損傷がないこと(目視)。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	転向シーブ (下流側) (㊻)	溝部の摩耗・損傷	ワヤ溝部、ツバに著しい摩耗、 損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査 補修	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		軸・軸受	摩耗、損傷がないこと(目視)。	有・無	交換	交換については別途整備作業
	昇降用 ワイヤロープ (上流側) (㊼)	ごみ・異物の付着	ごみ・砂塵等がロープに付着していないこと (目視)。	有・無	清掃	清掃・交換については別途整備作業
		変形・発錆	ストラット、又は素線の不規則な飛び出し、部分的 な籠状、キック、及び発錆がないこと。	有・無	原因調査 補修 交換	補修、交換については別途整備作業
		摩耗	減少率が公称径の7%以下であること (φ37.2mm以上あること) 計測値 _____ mm	有・無	原因調査 交換	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
橋体駆動部	昇降用 ワイヤロープ (上流側) ①	素線切れ	異常な素線切れが無いこと (ストランドの1ピッチ間に3.6本未満)	有・無	原因調査 交換	交換については別途整備作業
		グリース	ロープ表面に触れてベタツク程度の油気があること。	有・無	交換 補給	1年1回増し塗り 2年1回塗り直し
		内部状態	内部に腐食、発錆や損傷がないこと。	有・無	清掃 交換	清掃・交換については別途整備作業
	昇降用 ワイヤロープ (下流側) ①	ごみ・異物の付着	ごみ・砂塵等がロープに付着していないこと(目視)。	有・無	清掃	清掃・交換については別途整備作業
		変形・発錆	ストラット、又は素線の不規則な飛び出し、部分的な籠状、キック、及び発錆がないこと。	有・無	原因調査 補修 交換	補修、交換については別途整備作業
		摩耗	減少率が公称径の7%以下であること (φ37.2mm以上あること) 計測値 _____ mm	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業
		素線切れ	異常な素線切れが無いこと (ストランドの1ピッチ間に3.6本未満)	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業
		グリース	ロープ表面に触れてベタツク程度の油気があること。	有・無	交換 補給	1年1回増し塗り 2年1回塗り直し
		内部状態	内部に腐食、発錆や損傷がないこと。	有・無	清掃 交換	清掃・交換については別途整備作業
	カウンター ウェイト用 ワイヤロープ (上流側) ⑬	ごみ・異物の付着	ごみ・砂塵等がロープに付着していないこと(目視)。	有・無	清掃	清掃については別途整備作業
		変形・発錆	ストラット、又は素線の不規則な飛び出し、部分的な籠状、キック、及び発錆がないこと。	有・無	原因調査 補修 交換	補修、交換については別途整備作業
		摩耗	減少率が公称径の7%以下であること (φ49.3mm以上あること) 計測値 (上流より) ① _____ mm ② _____ mm ③ _____ mm ④ _____ mm	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業
		素線切れ	異常な素線切れが無いこと (ストランドの1ピッチ間に3.6本未満)	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業
		グリース	ロープ表面に触れてベタツク程度の油気があること。	有・無	交換 補給	1年1回増し塗り 2年1回塗り直し
		内部状態	内部に腐食、発錆や損傷がないこと。	有・無	清掃 交換 補給	清掃・交換については別途整備作業
	カウンター ウェイト用 ワイヤロープ (下流側) ⑭	ごみ・異物の付着	ごみ・砂塵等がロープに付着していないこと(目視)。	有・無	清掃	清掃については別途整備作業
		変形・発錆	ストラット、又は素線の不規則な飛び出し、部分的な籠状、キック、及び発錆がないこと。	有・無	原因調査 補修 交換	補修、交換については別途整備作業
		摩耗	減少率が公称径の7%以下であること (φ49.3mm以上あること) 計測値 (上流より) ① _____ mm ② _____ mm ③ _____ mm ④ _____ mm	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業
		素線切れ	異常な素線切れが無いこと(ストランドの1ピッチ間に3.6本未満)	有・無	原因調査 交換	調査・交換については別途整備作業

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
橋体駆動部	カウンター ウェイト用 ワイヤロープ (下流側) (15)	グリース	ロープ表面に触れてベタツク程度の油気があること。	有・無	交換 補給	1年1回増し塗り 2年1回塗り直し
		内部状態	内部に腐食、発錆や損傷がないこと。	有・無	清掃 交換 補給	清掃・交換については別途整備作業
	カウンター ウェイト (上流側)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	イコライザ軸 (上流側)	給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	補給については別途整備作業
	ターンバックル (上流側) (16)、(40)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		ピン	割りピンがはずれていないこと。	有・無	補給 交換	
	カウンター ウェイト (下流側)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	イコライザ軸 (下流側)	給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	補給については別途整備作業
	ターンバックル (下流側) (16)、(40)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		ピン	割りピンがはずれていないこと。	有・無	補給	
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、上流側) (43)	摩耗	摩耗がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、上流側) (43)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	補修、交換については別途整備作業
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、下流側) (43)	摩耗	摩耗がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、下流側) (43)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	補修、交換については別途整備作業
サイドローラ、 軸、軸受 (カウンターウェイト付、上流側) (39)	摩耗	摩耗がないこと(目視)。	有・無	原因調査		

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
橋体駆動部	サイドローラ、 軸、軸受 (カウンターウェイト付、上流側) (9)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	補修、交換については別途整備作業
	サイドローラ、 軸、軸受 (カウンターウェイト付、下流側) (9)	摩耗	摩耗がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	原因調査	
		給脂状態	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	補修、交換については別途整備作業
	ローラレール (上流側)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	補修	補修、交換については別途整備作業
	ローラレール (下流側)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	補修	補修、交換については別途整備作業
	道路遮断柵	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	補修	補修、交換については別途整備作業
保護装置	ワイヤーロープ端 末調整装置 (上流側) (11)	ロックナット	緩みがないこと。	有・無	増締	
	ワイヤーロープ端 末調整装置 (上流側) (11)	ソケット	割りピンがはずれていないこと。	有・無	補給	
		ロープ長さ	閉時の左右ロープの緩みが、適正、且つ同一であること。	有・無	調整	
	ワイヤーロープ端 末調整装置 (下流側) (11)	ロックナット	緩みがないこと。	有・無	増締	
	ワイヤーロープ端 末調整装置 (下流側) (11)	ソケット	割りピンがはずれていないこと。	有・無	補給	
		ロープ長さ	閉時の左右ロープの緩みが、適正、且つ同一であること。	有・無	調整	調整については別途整備作業
リミットスイッチ (ロープゆるみ、 過負荷、非常上 限、休止フック 着・脱用) (12)、(13)	変形・損傷	曲がり、変形、及び著しい損傷がないこと。	有・無	交換		
	作動確認	模擬にて動作確認を行い、正常に作動すること。	有・無	調整	3年1回定期点検	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
保護装置	制限開閉器(⑩)	変形・損傷	曲がり、変形、及び著しい損傷がないこと。	有・無	交換	
		内部状態	歯車の摩耗状態、各シール部分の点検し、異常がないこと。必要に応じ、歯車、Oリング等にグリースを補給すること。	有・無	交換 補給	
	制限開閉器(⑩)	絶縁抵抗値	DC500Vメガーで1MΩ以上であること。	有・無	原因を調査し 整備	
	チェーン・スプロケット(⑳)	変形・損傷	曲がり、変形、及び著しい損傷がないこと。	有・無	交換	
休止装置	休止装置(上流側)	作動確認	休止操作が円滑に行え、ゲート本体が干渉することなく正常な休止状態が確保できること。	有・無	調整	調整については別途整備作業
	休止装置(上流側)	軸受給脂状態	適量の油量が供給されていること。	有・無	補給	
	スクリー ジャッキ (上流側)(⑰)	油量(減速部)	油面計の規定内であること。	有・無	補給	
		潤滑油劣化(減速部)	グリースが供給されていること。	有・無	補給	
		給脂状態(スクリュ部)	劣化していないこと	有・無	交換	
		リミットスイッチ			交換	10年1回交換
	休止装置(下流側)	作動確認	休止操作が円滑に行え、ゲート本体が干渉することなく正常な休止状態が確保できること。	有・無	調整	調整については別途整備作業
	休止装置(下流側)	軸受給脂状態	適量の油量が供給されていること。	有・無	補給	
	スクリー ジャッキ (下流側)(⑰)	油量(減速部)	油面計の規定内であること。	有・無	補給	
		潤滑油劣化(減速部)	劣化していないこと	有・無	交換	
		給脂状態(スクリュ部)	劣化していないこと	有・無	交換	
		リミットスイッチ			交換	10年1回交換
スタンド式 開度計	全般	清掃状態	ひどい汚れ、油の付着がないこと。	有・無	清掃	
	表示部	くもり	前面透視板の透明度が良好であればよい	有・無	清掃	
	絶縁抵抗	絶縁抵抗値	DC500Vメガーで1MΩ以上であること。	有・無	原因を調査し 整備	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		扉の施錠状態	扉の施錠に支障がないこと。	有・無	調整	
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
開閉器類	スペースヒータ (SH1, TH11)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 20℃)を変更し, 外気 温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく 放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
タイ マ ー	タイマー (FRT)	目視・状態点検	設定値を確認。(設定値: 0.5秒)	有・無	調整	
	タイマー (BZT)	目視・状態点検	設定値を確認。(設定値: 1分)	有・無	調整	
	タイマー (BLT)	目視・状態点検	設定値を確認。(設定値: 1分)	有・無	調整	
P L C	電源ユニット	電源端子部の 電圧確認	メーカー推奨範囲(AC85~132V)以内であること。	有・無	原因調査	
	バッテリー	使用年数の確認	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(3 年)以上またはPLCの自己診断機能によりバッテ リ電圧低下している場合は交換。	有・無	交換	3年1回交換
	ヒューズ	使用年数の確認	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(10 年)以上であれば交換。	有・無	交換	
	CPU ユニット	エラー履歴の確認	PLCローディングツールを利用してPC診断を 行い, エラー発生のないこと。	有・無	原因調査	
	I/Oユニット	エラー履歴の確認	PLCローディングツールを利用してPC診断を 行い, エラー発生のないこと。	有・無	原因調査	
	CCLinkユニット	エラー履歴の確認	PLCローディングツールを利用してPC診断を 行い, エラー発生のないこと。	有・無	原因調査	
表 示 灯	故障表示	目視・状態点検	共通状態表示灯で故障が点灯していないこと。	有・無	原因調査	
			左岸機側操作盤状態表示灯で故障が点灯してい ないこと。	有・無	原因調査	
	盤内蛍光灯	点灯・球切れ	点灯すること。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動作	模擬テスト	制御電源	漏電遮断器 (ELCB17) をトリップさせ、蛍光灯消灯、ファン・スペースヒータ停止、コンセント電圧0Vとなること。	有・無	原因調査	
		ランプテスト	表示灯切替スイッチで【ランプテスト】を選択し、全表示灯点灯すること。	有・無	交換	
		切替確認	非常時操作小扉を開け、機側操作切替で【常時】、【非常時】が切替ること。	有・無	原因調査	
		コンセント	MCCB53を投入し、テスターにて電圧計測を行う。規定電圧(99~121V)以内であること。 電圧計測値: _____ V	有・無	原因調査	
		機側操作盤 盤内灯	MCCB54を投入し、機側操作盤の大扉を開/閉すると蛍光灯が点灯/消灯すること。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸主電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆、塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		扉の施錠状態	扉の施錠に支障がないこと。	有・無	調整	
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
開閉器類	スペースヒータ (TH21)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 20℃)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
	ファン (TH22)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 35℃)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し、ファンの回転を確認。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA1R)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA1S)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA1T)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
計器類	電流計 (A1)	0点確認	運転停止時に0点を指示していること。	有・無	調整	
ヒューズ	ヒューズ (F11)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	ヒューズ (F12)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	ヒューズ (F13)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
インバータ	タッチパネル (INV1)	表示が見えにくくないか 文字などが欠けていないか	表示が読めて異常がないこと。	有・無	交換	
	冷却ファン	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	原因調査	
	主回路	ボルト類の緩み・脱落	緩みがなければ良い。	有・無	調整	
		導体、機器や絶縁物の変形・破損・変色	発錆、変形などがなければよい。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸主電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
バイ ン タ	主回路	コンデンサの液漏れ、安全弁の状態	液漏れがないこと、安全弁が出ていないこと。	有・無	原因調査	
表 示 灯	故障表示	目視・状態点検	左岸主電動機盤状態表示灯で故障が点灯していないこと。	有・無	原因調査	
	盤内蛍光灯	点灯・球切れ	点灯すること。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸予備電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆、塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		扉の施錠状態	扉の施錠に支障がないこと。	有・無	調整	
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
開閉器類	スペースヒータ (TH31)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 20℃)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
	ファン (TH32)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 35℃)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し、ファンの回転を確認。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA2R)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA2S)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	避雷器 (GL-L4F LA2T)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
計器類	電流計 (A2)	0点確認	運転停止時に0点を指示していること。	有・無	調整	
ヒューズ	ヒューズ (F21)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	ヒューズ (F22)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
	ヒューズ (F23)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
インバータ	タッチパネル (INV2)	表示が見えにくくないか 文字などが欠けていないか	表示が読めて異常がないこと。	有・無	交換	
	冷却ファン	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	原因調査	
	主回路	ボルト類の緩み・脱落	緩みがなければ良い。	有・無	調整	
		導体、機器や絶縁物の変形・破損・変色	発錆、変形などがなければよい。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸予備電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
バイ ン タ	主回路	コンデンサの液漏れ、安全弁の状態	液漏れがないこと、安全弁が出ていないこと。	有・無	原因調査	
表示灯	故障表示	目視・状態点検	左岸予備電動機盤状態表示灯で故障が点灯していないこと。	有・無	原因調査	
	盤内蛍光灯	点灯・球切れ	点灯すること。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸制御分電盤】②

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		扉の施錠状態	扉の施錠に支障がないこと。	有・無	調整	
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
開閉器類	電磁接触器 (MC5)	目視・状態点検	接点に変色がないこと、溶着がないこと。	有・無	交換	
	スペースヒータ (TH11)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 20℃)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
	ファン (TH22)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 35℃)を変更し、外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置し、ファンの回転を確認。	有・無	交換	
ヒューズ	ヒューズ (F01)	目視・状態点検	ヒューズが溶断していないこと。	有・無	交換	
UPS	セルフテスト	作動テスト	セルフテストを行い、動作確認および充電状況を確認し正常であること。	有・無	原因調査	
	バッテリー	使用年数の確認	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(5年)以上または本体のバッテリーランプが点灯している場合は交換。	有・無	交換	5年1回交換
P L C	電源ユニット (PLC-A)	電源端子部の電圧確認	メーカー推奨範囲(AC85~132V)以内であること。	有・無	原因調査	
	バッテリー (PLC-A)	使用年数の確認	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(3年)以上またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換。	有・無	交換	3年1回交換
	ヒューズ (PLC-A)	使用年数の確認	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(10年)以上であれば交換。	有・無	交換	
	CPU ユニット (PLC-A)	エラー履歴の確認	PLCローディングツールを利用してPC診断を行い、エラー発生のないこと。	有・無	原因調査	
	電源ユニット (PLC-B)	電源端子部の電圧確認	メーカー推奨範囲(AC85~132V)以内であること。	有・無	原因調査	
	バッテリー (PLC-B)	使用年数の確認	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(3年)以上またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換。	有・無	交換	3年1回交換
	ヒューズ (PLC-B)	使用年数の確認	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(10年)以上であれば交換。	有・無	交換	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸制御分電盤】②

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
P L C	CPU ユニット (PLC-B)	エラー履歴の確認	PLCローディングツールを利用してPC診断を行い、エラー発生のないこと。	有・無	原因調査	
	電源ユニット (PLC-I/O)	電源端子部の 電圧確認	メーカ推奨範囲 (AC85~132V) 以内であること。	有・無	原因調査	
表 示 灯	故障表示	目視・状態点検	右岸制御分電盤状態表示灯で故障が点灯していないこと。	有・無	原因調査	
	盤内蛍光灯	点灯・球切れ	点灯すること。	有・無	交換	
動 作	模擬テスト	ランプテスト	表示灯切替スイッチで【ランプテスト】を選択し、全表示灯点灯すること。	有・無	原因調査	
		表示灯消灯	表示灯切替スイッチで【切】を選択し、全表示灯消灯すること。	有・無	原因調査	
		制御電源主幹	MCCB01を投入し、テスターにて電圧計測を行う (TR二次側)。規定電圧 (99~121V) 以内であること。指示値: V	有・無	原因調査	
		コンセント	CP173を投入し、テスターにて電圧計測を行う。規定電圧 (99~121V) 以内であること。指示値: V	有・無	原因調査	
		制御漏電	漏電リレー (51G1) をテスト動作させ、漏電表示 LED点灯すること (リレー本体の表示灯)。	有・無	交換	
		補機漏電	漏電遮断器 (ELCB17) をトリップさせ、蛍光灯消灯、ファン・スペースヒータ停止、コンセント電圧0Vとなること。	有・無	原因調査	
		UPS異常	UPSバッテリー低下を発生させ、「UPS異常」点灯すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸照明分電盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		扉の施錠状態	扉の施錠に支障がないこと。	有・無	調整	
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
計器類	電圧計 (V1)	電圧値	電圧が定格電圧の±10% (99~121V) 以内であること。 電圧計指示値: _____ V (R-N)	有・無	原因調査	
	電圧計 (V1)	電圧値	電圧が定格電圧の±10% (99~121V) 以内であること。 電圧計指示値: _____ V (N-T)	有・無	原因調査	
	電圧計 (V1)	電圧値	電圧が定格電圧の±10% (198~242V) 以内であること。 電圧計指示値: _____ V (T-R)	有・無	原因調査	
開閉器類	スペースヒータ (TH1)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 20°C)を変更し, 外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
表示灯	故障表示	目視・状態点検	右岸照明分電盤状態表示灯で故障が点灯していないこと。	有・無	原因調査	
動作	模擬テスト	MCCBトリップ	電源主幹ブレーカ(MCCB01)をトリップさせ、「MCCBトリップ」点灯すること。	有・無	原因調査	
		漏電	漏電遮断器(ELCB01~11)をトリップさせ、「漏電」点灯すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【監視操作卓】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	補修	
		扉の開閉状態	扉の開閉に支障がないこと。	有・無	調整	
		バッテリー	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(4年)以上で交換。	有・無	交換	4年1回交換
		バックライト	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(5年)以上で交換。	有・無	交換	5年1回交換
一般	機器・計器類共通	汚れ・変色	汚れ・変色が無いこと。	有・無	交換、 原因調査	
開閉器類	スペースヒータ (TH1)	作動テスト	サーモスイッチの設定(設定値: 20°C)を変更し, 外気温度でスイッチが入れば正常。この状態でしばらく放置しヒータの発熱を確認。	有・無	交換	
表示灯	故障表示	目視・状態点検	故障画面一覧(左岸故障状態一覧、右岸故障状態一覧、非常用発電機故障状態一覧)で故障表示が点灯していないこと。	有・無	原因調査	

右岸機側操作盤状態表示灯

模擬テスト	故障内容	場所				備考
		右岸	左岸	操作卓		
				右岸表示画面	故障一覧	
	両岸偏差大					
	非常上限					非常上限LS
	非常下限					非常下限LS
	ロープ弛み(上流側)					上流側ロープ弛みLS
	ロープ弛み(下流側)					下流側ロープ弛みLS
	動力回路重故障					主、予備重故障ON
	動力回路軽故障					主、予備軽故障ON
	ロープ過負荷(上流側)					上流側 ロープ過負荷LS
	ロープ過負荷(下流側)					下流側 ロープ過負荷LS
	開度計異常					MCCB47 OFF
	非常停止					
	操作指令異常					上昇押釦10秒以上 ON
	PLC異常					
	右岸—左岸通信異常					機側PLCの光ファイ バケーブル外す
	右岸—管理通信異常					制御盤PLCの光 ファイバケーブル外す

右岸主電動機盤状態表示灯

模擬テスト	故障内容	場所				備考
		右岸	左岸(*)	操作卓		
				右岸表示画面	故障一覧	
	INV故障					RC-3441
	過負荷					49-11
	主MCCBトリップ					MCCB01
	電動機MCCBトリップ					MCCB11
	ブレーキ過負荷					49-12
	動力漏電					51G1

(*)左岸では動力回路重故障および動力回路軽故障が点灯。

右岸予備電動機盤状態表示灯

模擬テスト	故障内容	場所				備考
		右岸	左岸(*)	操作卓		
				右岸表示画面	故障一覧	
	INV故障					RC-3521
	過負荷					49-11
	主MCCBトリップ					MCCB01
	電動機MCCBトリップ					MCCB11
	ブレーキ過負荷					49-12
	動力漏電					51G1
	制御漏電					51G3

(*)左岸では動力回路重故障および動力回路軽故障が点灯。

右岸制御分電盤状態表示灯

模擬テスト	故障内容	場所		備考
		右岸	操作卓	
	制御漏電			51G1
	補機漏電			ELCB17
	UPS異常			操作卓では(バッテリー低下、トラブル、入力電源異常)

右岸照明分電盤状態表示灯

模擬動作確認	故障内容	場所		備考
		右岸	操作卓	
	MCCBトリップ			MCCB01
	漏電			ELCB01～11

左岸機側操作盤状態表示灯

模擬テスト	故障内容	場所				備考
		左岸	右岸	操作卓		
				右岸表示画面	故障一覧	
	両岸偏差大					
	非常上限					非常上限LS
	非常下限					非常下限LS
	ロープ弛み(上流側)					上流側ロープ弛みLS
	ロープ弛み(下流側)					下流側ロープ弛みLS
	動力回路重故障					主、予備重故障ON
	動力回路軽故障					主、予備軽故障ON
	ロープ過負荷(上流側)					上流側 ロープ過負荷LS
	ロープ過負荷(下流側)					下流側 ロープ過負荷LS
	開度計異常					MCCB47 OFF
	非常停止					
	操作指令異常					上昇押釦10秒以上 ON
	PLC異常					
	右岸-左岸通信異常					機側PLCの光ファイ バケーブル外す
	右岸-管理通信異常					制御盤PLCの光 ファイバケーブル外す

左岸主電動機盤状態表示灯

模擬テスト	故障内容	場所				備考
		左岸	右岸(*)	操作卓		
				左岸表示画面	故障一覧	
	INV故障					RC-3441
	過負荷					49-11
	主MCCBトリップ					MCCB01
	電動機MCCBトリップ					MCCB11
	ブレーキ過負荷					49-12
	動力漏電					51G1

(*)右岸では動力回路重故障および動力回路軽故障が点灯。

左岸予備電動機盤状態表示灯

模擬テスト	故障内容	場所				備考
		左岸	右岸(*)	操作卓		
				左岸表示画面	故障一覧	
	INV故障					RC-3521
	過負荷					49-11
	主MCCBトリップ					MCCB01
	電動機MCCBトリップ					MCCB11
	ブレーキ過負荷					49-12
	動力漏電					51G1
	制御漏電					51G3

(*)右岸では動力回路重故障および動力回路軽故障が点灯。

左岸制御分電盤状態表示灯

模擬動作確認	故障内容	場所		備考
		左岸	操作卓	
	制御漏電			51G1
	補機漏電			ELCB17
	UPS異常			操作卓では(バッテリー低下、トラブル、入力電源異常)

【左岸照明分電盤状態表示灯】

模擬動作確認	故障内容	場所		備考
		左岸	操作卓	
	MCCBトリップ			MCCB01
	漏電			ELCB01～11

非常用発電機状態表示灯

模擬テスト	故障内容		備考
		操作卓	
		故障一覧	
	緊急停止		86COM-86F
	始動渋滞		86COM-86D
	過回転		86COM-86C
	過電流		86COM-86E
	潤滑油油圧低下		86COM-86K
	冷却水温度上昇		86COM-86B
	燃料油最低油量		86COM-86G
	不足電圧		86COM-86I
	周波数低下		86COM-86J
	過電圧		86COM-86H
	燃料油面低下		86COM-86A
	充電器異常		86COM-86L

運転時間・運転回数記録

記録日：令和 年 月 日

	主電動機		予備電動機	
	左岸	右岸	左岸	右岸
運転時間 (H)				
運転回数 (回)				

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【警報監視設備】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
規制設備	信号機(交通用) 左岸側④	清掃状態	点灯部の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	赤信号、青信号が確実に点灯すること。	有・無	原因調査	
	信号機(交通用) 右岸側④	清掃状態	点灯部の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	赤信号、青信号が確実に点灯すること。	有・無	原因調査	
	信号機(船舶用) 左岸上流側④	清掃状態	点灯部の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	赤信号、青信号が確実に点灯すること。	有・無	原因調査	
	信号機(船舶用) 左岸下流側④	清掃状態	点灯部の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	赤信号、青信号が確実に点灯すること。	有・無	原因調査	
信号機(船舶用) 右岸上流側④	清掃状態	点灯部の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃		
	発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装		
	動作状態	赤信号、青信号が確実に点灯すること。	有・無	原因調査		
信号機(船舶用) 右岸下流側④	清掃状態	点灯部の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃		
	発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装		
	動作状態	赤信号、青信号が確実に点灯すること。	有・無	原因調査		

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【警報監視設備】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
規制設備	交通遮断機㉔ 左岸上流側	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	開閉操作が確実にできること。 開閉の停止位置が適切であること。	有・無	原因調査	
	交通遮断機㉔ 左岸下流側	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	開閉操作が確実にできること。 開閉の停止位置が適切であること。	有・無	原因調査	
	交通遮断機㉔ 右岸上流側	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	開閉操作が確実にできること。 開閉の停止位置が適切であること。	有・無	原因調査	
	交通遮断機㉔ 右岸下流側	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	開閉操作が確実にできること。 開閉の停止位置が適切であること。	有・無	原因調査	
	回転灯 (左岸機械室) 左岸上流側㉕	清掃状態	カバー等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		動作状態	確実に動作すること。	有・無	原因調査 交換	モータは5年1回交換 電球は3年1回交換
	回転灯 (左岸機械室) 左岸下流側㉕	清掃状態	カバー等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		動作状態	確実に動作すること。	有・無	原因調査 交換	モータは5年1回交換 電球は3年1回交換
	回転灯 (右岸機械室) 右岸上流側㉕	清掃状態	カバー等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		動作状態	確実に動作すること。	有・無	原因調査 交換	モータは5年1回交換 電球は3年1回交換

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【警報監視設備】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
規制設備	回転灯 (右岸機械室) 右岸下流側㉑	清掃状態	カバー等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		動作状態	確実に動作すること。	有・無	原因調査 交換	モータは5年1回交換 電球は3年1回交換
	橋体灯 (可動橋橋体) 上流側㉒	清掃状態	ガラス等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃 交換	フードは5年1回交換
		動作状態	確実に動作すること。	有・無	原因調査	
	橋体灯 (可動橋橋体) 下流側㉓	清掃状態	ガラス等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃 交換	フードは5年1回交換
		動作状態	確実に動作すること。	有・無	原因調査	
	橋脚部照明㉔ 左岸上流側	清掃状態	ガラス等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		動作状態	確実に動作すること。	有・無	原因調査	
	橋脚部照明㉔ 左岸下流側	清掃状態	ガラス等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		動作状態	確実に動作すること。	有・無	原因調査	
	歩行者情報板 左岸上流側	清掃状態	点灯部の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	異常なく作動すること。	有・無	原因調査	
	歩行者情報板 左岸下流側	清掃状態	点灯部の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	異常なく作動すること。	有・無	原因調査	
	歩行者情報板 右岸上流側	清掃状態	点灯部の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【警報監視設備】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
規制設備	歩行者情報板 右岸上流側	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	原因調査	
	歩行者情報板 右岸下流側	清掃状態	点灯部の汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆、塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	異常なく作動すること。	有・無	原因調査	
	巡回カメラ⑳ (左岸機械室) 道路用	清掃状態	レンズ等の汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃 交換	巡回カメラのワイパーは 1年1回交換
	巡回カメラ⑳ (左岸機械室) 道路用	発錆、塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	操作するカメラを選択できること。 リモートコントローラで巡回操作が行えること ・左右の巡回操作 ・上下の巡回操作 ・斜めの巡回操作	有・無 有・無	原因調査 原因調査	
	巡回カメラ⑳ (左岸機械室) 道路用	動作状態	リモートコントローラでズーム操作が行えること ・ワイド方向（範囲を広げる方向） ・テレ方向（中央部を拡大する方向）	有・無	原因調査	
			リモートコントローラでフォーカス操作が行えること ・ニア（近くにピントを合わせる） ・ファー（遠くにピントを合わせる） ・自動（自動でピントを合わせる）	有・無	原因調査	
	固定カメラ㉑ (左岸機械室) 道路用	清掃状態	レンズ等の汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆、塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	操作するカメラを選択できること。	有・無	原因調査	
			リモートコントローラでズーム操作が行えること ・ワイド方向（範囲を広げる方向） ・テレ方向（中央部を拡大する方向）	有・無	原因調査	
			リモートコントローラでフォーカス操作が行えること ・ニア（近くにピントを合わせる） ・ファー（遠くにピントを合わせる） ・自動（自動でピントを合わせる）	有・無	原因調査	
	巡回カメラ㉑ (左岸機械室) 船舶用	清掃状態	レンズ等の汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃 交換	巡回カメラのワイパーは 1年1回交換

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【警報監視設備】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
規制設備	旋回カメラ⑳ (左岸機械室) 船舶用	発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	操作するカメラを選択できること	有・無	原因調査	
			リモートコントローラで旋回操作が行えること ・左右の旋回操作 ・上下の旋回操作 ・斜めの旋回操作	有・無	原因調査	
			リモートコントローラでズーム操作が行えること ・ワイド方向 (範囲を広げる方向) ・テレ方向 (中央部を拡大する方向)	有・無	原因調査	
			リモートコントローラでフォーカス操作が行えること ・ニア (近くにピントを合わせる) ・ファー (遠くにピントを合わせる) ・自動 (自動でピントを合わせる)	有・無	原因調査	
	旋回カメラ⑳ (右岸機械室) 道路用	清掃状態	レンズ等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃 交換	旋回カメラのワイパーは 1年1回交換
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	操作するカメラを選択できること	有・無	原因調査	
			リモートコントローラで旋回操作が行えること ・左右の旋回操作 ・上下の旋回操作 ・斜めの旋回操作	有・無	原因調査	
			リモートコントローラでズーム操作が行えること ・ワイド方向 (範囲を広げる方向) ・テレ方向 (中央部を拡大する方向)	有・無	原因調査	
	リモートコントローラでフォーカス操作が行えること ・ニア (近くにピントを合わせる) ・ファー (遠くにピントを合わせる) ・自動 (自動でピントを合わせる)	有・無	原因調査			
	固定カメラ⑳ (右岸機械室) 道路用	清掃状態	レンズ等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	操作するカメラを選択できること。	有・無	原因調査	
			リモートコントローラでズーム操作が行えること ・ワイド方向 (範囲を広げる方向) ・テレ方向 (中央部を拡大する方向)	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【警報監視設備】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
規制設備	固定カメラ㉔ (右岸機械室) 道路用	動作状態	リモートコントローラでフォーカス操作が行えること ・ニア (近くにピントを合わせる) ・ファー (遠くにピントを合わせる) ・自動 (自動でピントを合わせる)	有・無	原因調査	
	旋回カメラ㉔ (右岸機械室) 船舶用	清掃状態	レンズ等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃 交換	旋回カメラのリバーは 1年1回交換
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	操作するカメラを選択できること	有・無	原因調査	
			リモートコントローラで旋回操作が行えること ・左右の旋回操作 ・上下の旋回操作 ・斜めの旋回操作	有・無	原因調査	
	リモートコントローラでズーム操作が行えること ・ワイド方向 (範囲を広げる方向) ・テレ方向 (中央部を拡大する方向)		有・無	原因調査		
	固定カメラ㉔ (右岸機械室) 船舶用	清掃状態	レンズ等の汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	操作するカメラを選択できること。	有・無	原因調査	
			リモートコントローラでズーム操作が行えること ・ワイド方向 (範囲を広げる方向) ・テレ方向 (中央部を拡大する方向)	有・無	原因調査	
	監視モニタ (管理室2F)	動作状態	レコーダー本体及びマウスで、画面レイアウトの切替が出来ること ・1画面 ・4分割画面 ・9分割画面 ・13分割画面 ・16分割画面	有・無	原因調査	
			シーケンス画面でカメラ映像の自動切替が行えること。	有・無	原因調査	
			カメラ画面の連続録画が行えること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【警報監視設備】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
規制設備	監視モニタ (管理室2F)	動作状態	録画した映像を再生できること。	有・無	原因調査	
	スピーカ ^㊿ 左岸上流側	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	リモートマイクでマイク放送が出来ること ・一斉放送 ・個別放送 ・チャイム吹鳴	有・無	原因調査	
			放送をモニターできること ・モニターするスピーカーラインを選択 ・音量つまみでモニター音量の調節	有・無	原因調査	
	スピーカ ^㊿ 左岸下流側	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	リモートマイクでマイク放送が出来ること ・一斉放送 ・個別放送 ・チャイム吹鳴	有・無	原因調査	
			放送をモニターできること ・モニターするスピーカーラインを選択 ・音量つまみでモニター音量の調節	有・無	原因調査	
	スピーカ ^㊿ 右岸上流側	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	リモートマイクでマイク放送が出来ること ・一斉放送 ・個別放送 ・チャイム吹鳴	有・無	原因調査	
			放送をモニターできること ・モニターするスピーカーラインを選択 ・音量つまみでモニター音量の調節	有・無	原因調査	
	スピーカ ^㊿ 右岸下流側	清掃状態	汚れ, 又は破損がなければ良い。 鳥, 虫の巣, その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	清掃	
		発錆, 塗装状況	鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	有・無	塗装	
		動作状態	リモートマイクでマイク放送が出来ること ・一斉放送 ・個別放送 ・チャイム吹鳴	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋停止中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【警報監視設備】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
規制設備	スピーカ ^㊸ 右岸下流側	動作状態	放送をモニターできること ・モニターするスピーカーラインを選択 ・音量つまみでモニター音量の調節	有・無	原因調査	
風向風速計	風向風速発信器 ^㊸ (左岸機械室)	破損状態	破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	有・無	原因調査	
		動作状態	風向、風速が表示器に表示されること。	有・無	原因調査 整備	発信機本体を5年1回 メーカーで整備 ベアリングは1年1回交換

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検

【受配電設備、非常用発電設備】（無停電）⑩, ⑪ ※1年毎

※ 当点検は専門作業者が行います。

点検の概要を以下に示します。

点検・測定・試験項目

1. 電気設備の改修の有無 ※1
2. 受配電設備点検 ※1
3. 超音波式放電検知器測定 ※1
4. 絶縁監視装置動作試験 ※1
5. 開閉器点検 ※1
6. 発電装置点検 ※1

(以下の項目については必要に応じて実施して下さい)

7. 変圧器・開閉器・しゃ断器内部点検
8. 保護継電器動作特性試験
9. 計器校正試験
10. 絶縁油酸化試験
11. 絶縁油耐圧試験
12. 発電機機関保護継電器試験

※1 参考資料 「年次点検報告書」 を参照下さい。

(1/5)

自家用電気工作物定期点検試験報告書

様

参考資料

貴事業所の電気工作物について、点検及び試験を実施いたしましたので下記のとおり、その結果をご報告いたします。

要改修事項につきましては、災害、事故（感電、火災）等の危険がありますので、至急修理、改修のご配慮をお願いいたします。

施設名			
住所			
設備容量			
実施者			
実施日	平成 年 月 日	曜日	天候 ()
番号	項目	結果	備考
1	方向性高圧地絡継電器の動作		(2/5) P
2	過電流継電器の作動		(2/5) P
3	高圧機器廻りの塵芥		清掃実施
4	しゃ断器、開閉器の操作機構		
5	電圧計、電流計の不備		
6	各種表示灯		
7	高圧関係絶縁抵抗		(3/5) P
8	接地抵抗測定		(3/5) P
9	低圧関係絶縁抵抗		(4/5) P
10	非常用予備発電装置		(5/5) P
11	キュービクル内接地線布設状態		
12	ジスコン操作棒		
13	ヒューズの予備		
14	危険標識		
15	消火器 ()		
要改修事項			

参考資料

(2/5)

事業所名						
方向性高圧地絡継電器試験				不足電圧継電器試験		
用 途	受 電 用			用 途		
製 造 業 者		製 造 番		継 電 器	製 造 者 名	
型 式		製 造 年			型 式	
条 件 設 定		試 験 結 果	判 定 基		判 定	製 造 番 号
						製 造 年 月
整定タップ(A)					整定タップ(V)	
最小動作電流(A)					時 限 (秒)	100~60V
最小動作電圧(V)						100~0V
動作時間(秒)130%					備 考	始動電圧(V)
動作時間(秒)400%						復帰電圧(V)
動作位相特性(度)進み					総合判定	
動作位相特性(度)遅れ						
慣性特性(50mS) 0.2 A×400%						
備 考 ※判定はJIS規格による。			使用測定器			
			製 造 者 名			
			型 式			
			製 造 年 月			
			製 造 番 号			

過 電 流 継 電 器 試 験							
用 途							
製 造 業 者							
型 式							
製 造 番 号							
製 造 年 月							
相		R	T	R	T	R	T
整定タップ(A)							
時限タップ							
最小動作電流(A)							
時 限 (秒)	200%						
	300%						
	500%						
瞬 時	整定タップ(A)						
	時 限(秒)						
試 験 結 果							
使用測定器							
測定機器		製 造 者 名	型 式	製 造 年 月	製 造 番 号		

参考資料

(3/5)

事業所名					
高 圧 関 係 絶 縁 抵 抗 測 定					
回路：機器名	回路電圧(V)	測定値(MΩ)	結果	備考	
使用測定機器					
機器名	製造者名	型式	定格	製造年月	製造番号
接 地 抵 抗 測 定					
設置場所	種別	管理値(Ω)以下	測定値(Ω)	結果	備考
使用測定機器					
機器名	製造者名	型式	定格	製造年月	製造番号

(5/5)

事業所名			
非常用予備発電装置点検表			
仕様	発電装置	充電装置	
製造者名			
型式			
容量			
製造年月			
製造番号			

始動前点検		結果	
自動起動盤表示灯の点灯	制御	有	無
	商用	有	無
	充電	有	無
	故障	有	無
原動機	潤滑油、冷却水、燃料漏洩の有無	有	無
始動装置	充電装置	電圧 (V)	
	蓄電池端子部	電流 (A)	
		良	否
運転記録		結果	
自動起動盤	運転方法	自動	手動
	切替時間 (秒)		
原動機	回転数 (rpm)		
	冷却水温度 (°C)		
	潤滑油温度 (°C)		
	潤滑油圧力 (MPa)		
発電機	電圧 (V)	R-S	
		S-T	
		T-R	
	電流 (A)	R	
		S	
T			
周波数 (Hz)			
停止後の状況		結果	
原動機	燃料カット	良	否
	燃料：タンクレベル	残量：	
充電装置	充電方式	浮動	均等
	電圧 (V)		
	電流 (A)		
装置全体 外観点検		良	否
備考			

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋昇降中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
架台	全体	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
動力部	主電動機(③)	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
		温度上昇	異常な温度上昇が無いこと(触診)。	有・無	原因調査	
		電流値	通常の電流値に比べて大幅な変動が無く、定格電流値以下であること。	有・無	原因調査	
		電圧値	作動時の電圧降下が、±10%以下であること。	有・無	原因調査	
	主電動機(③)	軸受給脂	適量な油量を供給すること。	有・無	補給	
	予備電動機(④)	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
		温度上昇	異常な温度上昇が無いこと(触診)。	有・無	原因調査	
		電流値	通常の電流値に比べて大幅な変動が無く、定格電流値以下であること。	有・無	原因調査	
		電圧値	作動時の電圧降下が、±10%以下であること。	有・無	原因調査	
		軸受給脂	適量な油量を供給すること。	有・無	補給	
制動部	電磁ブレーキ (主電動機側)(⑤)	作動確認	確実に作動し、瞬時に停止すること。	有・無	調整	
	油圧押し上りブレーキ (主電動機側)(⑥)	作動確認	確実に作動し、瞬時に停止すること。	有・無	調整	
	電磁ブレーキ (予備電動機側) (⑦)	作動確認	確実に作動し、瞬時に停止すること。	有・無	調整	
	油圧押し上りブレーキ (予備電動機側) (⑧)	作動確認	確実に作動し、瞬時に停止すること。	有・無	調整	
減速装置	減速機(②)	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
		温度上昇	全揚程1往復の作動を行い、異常な温度上昇が無いこと(触診、本体)。	有・無	原因調査	
	ドラムギヤ ピニオンギヤ	異音	異音がないこと(聴診)。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋昇降中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動力伝達部	軸受	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
		温度上昇	異常な温度上昇が無いこと(触診)。	有・無	原因調査	
動力伝達部	軸受	芯振れ	異常な芯振れがないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	ギヤカップリング (㉒)	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
		芯振れ	異常な芯振れがないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	チェーン カップリング(㉓)	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
芯振れ		異常な芯振れがないこと(目視)。	有・無	原因調査		
橋体駆動部	橋体付シーブ (上流側)(㉔)	作動確認	ワイロープの動作と同時に適正に回転していること(目視)。	有・無	調整	
	橋体付シーブ (下流側)(㉔)	作動確認	ワイロープの動作と同時に適正に回転していること(目視)。	有・無	調整	
	転向シーブ (上流側)(㉕)	作動確認	ワイロープの動作と同時に適正に回転していること(目視)。	有・無	調整	
	転向シーブ (下流側)(㉕)	作動確認	ワイロープの動作と同時に適正に回転していること(目視)。	有・無	調整	
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、上流側) (㉖)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、下流側) (㉖)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	
	サイドローラ、 軸、軸受 (カウンターウェイト付、上流側)(㉗)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	
	サイドローラ、 軸、軸受 (カウンターウェイト付、下流側)(㉗)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	
ケーブルバア (上流側)(㉘)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	補修 交換	交換時期は 定期点検時に判断	
保護装置	制限開閉器(㉙)	作動状況	非常下限(-0.2m)、下限(0m)、下降減速 (0.83m)、 上限(12.8m)、非常上限(13.1m)の各位置にて 正常に作動すること。	有・無	調整	
スタンド式 開度計	開度表示	開度表示	操作盤の表示と大きな誤差ないこと (下限、上限、減速位置)。	有・無	原因を調査し 整備	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【右岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
一般	機器・計器類共通	異音	異音が無いこと。	有・無	交換、原因調査	
リレー類	補助リレー (X)	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	交換、原因調査	
タイマー	タイマー (FRT)	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	交換、原因調査	
		異音, 騒音	異常な騒音、有害な振動がないこと。	有・無	交換、原因調査	
	タイマー (BZT)	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	交換、原因調査	
		異音, 騒音	異常な騒音、有害な振動がないこと。	有・無	交換、原因調査	
	タイマー (BLT)	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	交換、原因調査	
		異音, 騒音	異常な騒音、有害な振動がないこと。	有・無	交換、原因調査	
スイッチ	押釦スイッチ	作動テスト	上昇、下降、停止の運転が正しく行えること。	有・無	原因調査	
動作	運転操作 (単独操作・ 主電動機選択)	操作準備	右岸機側操作盤の操作小扉を開いて、「機側」点灯すること。常用、単独、主電動機選択、交通規制中、船舶規制中を監視操作卓または左岸機側操作盤で選択し、「常用」、「単独」、「主電動機」、「交通規制中」、「船舶規制中」点灯すること。(以下の動作を行う前に監視操作卓で【スイッチ】の項目を点検する。P.67～68)	有・無	原因調査	
		上昇操作	【上昇】押ボタンを押し続けると「↑」点滅すること。	有・無	原因調査	
			押ボタンから手を離すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			上昇中に上限LS ONで停止、「↑」消灯、「上限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
		下降操作	【下降】押ボタンを押し続けると「↓」点滅すること。	有・無	原因調査	
			押ボタンから手を離すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			下降中に下降減速LS ONで「減速範囲」点灯すること。	有・無	原因調査	
			下降中に下限LS ONで停止、「↓」消灯、「下限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動作	運転操作 (単独操作・ 予備電動機選択)	操作準備	右岸機側操作盤の操作小扉を開いて、「機側」点灯すること。常用、単独、予備電動機選択、交通規制中、船舶規制中を監視操作卓または左岸機側操作盤で選択し、「常用」、「単独」、「予備電動機」、「交通規制中」、「船舶規制中」点灯すること。(以下の動作を行う前に監視操作卓で【スイッチ】の項目を点検する。P.67～68)	有・無	原因調査	
		上昇操作	【上昇】押ボタンを押し続けると「↑」点滅すること。	有・無	原因調査	
			押ボタンから手を離すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			上昇中に上限LS ONで停止、「↑」消灯、「上限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
		下降操作	【下降】押ボタンを押し続けると「↓」点滅すること。	有・無	原因調査	
			押ボタンから手を離すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			下降中に下降減速LS ONで「減速範囲」点灯すること。	有・無	原因調査	
			下降中に下限LS ONで停止、「↑」消灯、「下限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
	運転操作 (同時操作・ 主電動機選択)	操作準備	右岸機側操作盤の操作小扉を開いて、「機側」点灯すること。常用、同時、主電動機選択、交通規制中、船舶規制中を監視操作卓または左岸機側操作盤で選択し、「常用」、「同時」、「主電動機」、「交通規制中」、「船舶規制中」点灯すること。(以下の動作を行う前に監視操作卓で【スイッチ】の項目を点検する。P.67～68)	有・無	原因調査	
		上昇操作	【上昇】押ボタンを押すと「↑」点滅すること。	有・無	原因調査	
			【停止】押ボタンを押すと、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			上昇中に上限LS ONで停止、「↑」消灯、「上限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
		下降操作	【下降】押ボタンを押すと「↓」点滅すること。	有・無	原因調査	
			【停止】押ボタンを押すと、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
下降中に下降減速LS ONで「減速範囲」点灯すること。	有・無		原因調査			
下降中に下限LS ONで停止、「↓」消灯、「下限」、「停止」点灯すること。	有・無		原因調査			

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考	
動作	運転操作 (同時操作・ 予備電動機選択)	操作準備	右岸機側操作盤の操作小扉を開いて、「機側」点灯すること。常用、同時、予備電動機選択、交通規制中、船舶規制中を監視操作卓または左岸機側操作盤で選択し、「常用」、「同時」、「予備電動機」、「交通規制中」、「船舶規制中」点灯すること。(以下の動作を行う前に監視操作卓で【スイッチ】の項目を点検する。P.67～68)	有・無	原因調査		
		上昇操作	【上昇】押ボタンを押すと「↑」点滅すること。	有・無	原因調査		
			【停止】押ボタンを押すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査		
		上昇操作	上昇中に上限LS ONで停止、「↑」消灯、「上限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査		
		下降操作	【下降】押ボタンを押すと「↓」点滅すること。	有・無	原因調査		
			【停止】押ボタンを押すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査		
			下降中に下降減速LS ONで「減速範囲」点灯すること。	有・無	原因調査		
			下降中に下限LS ONで停止、「↓」消灯、「下限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査		
		動作確認	運転チャイム	可動橋を上昇または下降運転すると「↑」または「↓」点滅すること。	有・無	原因調査	
			上昇押釦パルス化1	「上昇」押釦を2秒未満押し続けるとPLC内部リレー(M80)2秒間のみONすること。	有・無	原因調査	
	上昇押釦パルス化2		「上昇」押釦を2秒以上10秒未満押し続けるとPLC内部リレー(M80)2秒間のみONすること。	有・無	原因調査		
	下降押釦パルス化1		「下降」押釦を2秒未満押し続けるとPLC内部リレー(M81)2秒間のみONすること。	有・無	原因調査		
	下降押釦パルス化2		「下降」押釦を2秒以上10秒未満押し続けるとPLC内部リレー(M81)2秒間のみONすること。	有・無	原因調査		
	模擬テスト	操作指令異常 (上昇押釦異常)	「上昇」押釦を10秒以上押し続けると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査		
		操作指令異常 (下降押釦異常)	「下降」押釦を10秒以上押し続けると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査		
		操作指令異常 (主電動機開過動作)	主電動機の開過動作制限を模擬的に発生させると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査		
		操作指令異常 (主電動機閉過動作)	主電動機の閉過動作制限を模擬的に発生させると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査		

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
模擬テスト		操作指令異常 (予備電動機開過動作)	予備電動機の開過動作制限を模擬的に発生させると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査	
		操作指令異常 (予備電動機閉過動作)	予備電動機の閉過動作制限を模擬的に発生させると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査	
インタロックの確認	昇降操作 インタロック		可動橋上昇中に【下降】押ボタンONしても上昇運転継続すること。 可動橋下降中に【上昇】押ボタンONしても下降運転継続すること。	有・無	原因調査	
	操作小扉 インタロック		可動橋上昇または下降運転中に操作小扉を閉じると、「↑」または「↓」消灯、「管理室」「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
	非常時操作 インタロック		可動橋上昇または下降運転中に非常時操作切替信号【非常時】ONすると「↑」または「↓」消灯、「非常時操作」点滅、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
	電動機切替 インタロック		可動橋上昇または下降運転中に、電動機切替信号【主電動機】/【予備電動機】ONすると「↑」または「↓」消灯、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
動作	操作モード切替 インタロック		可動橋上昇または下降運転中に、操作モード切替信号【点検】ONすると「↑」または「↓」消灯、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
	点検操作 インタロック		操作モード切替スイッチ【点検】選択時に、【上昇】または【下降】押ボタンONすると可動橋の運転が出来ないこと。	有・無	原因調査	
	交通規制中 インタロック		交通規制中信号OFF時に【上昇】または【下降】押ボタンONすると可動橋の運転が出来ないこと。	有・無	原因調査	
	船舶規制中 インタロック		船舶規制中信号OFF時に【上昇】または【下降】押ボタンONすると可動橋の運転が出来ないこと。	有・無	原因調査	
	フック開閉 インタロック		フック開信号ON時に【上昇】または【下降】押ボタンONすると可動橋の運転が可能なこと。 フック閉信号ON時に【上昇】または【下降】押ボタンONすると可動橋の運転が出来ないこと。	有・無	原因調査	
	上昇操作 インタロック		トグルスイッチで【切】選択時、上昇運転中に非常上限を発生させると警報が発報せず、可動橋が停止しないこと。	有・無	原因調査	
	下降操作 インタロック		トグルスイッチで【切】選択時、下降運転中にロープ弛みを発生させると警報が発報せず、可動橋が停止しないこと。	有・無	原因調査	
	非常時操作の確認	操作選択		非常時操作切替信号【非常時】ONにすると「非常時操作」点灯すること。(PLCのCPUを「STOP」にしておく)	有・無	原因調査
非常時上昇操作			非常時操作切替スイッチ【上昇】選択すると「↑」点滅、「停止」消灯すること。 上昇運転中に操作スイッチから手を離すと「↑」消灯、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
非常時下降操作			非常時操作切替スイッチ【下降】選択すると「↓」点滅、「停止」消灯すること。 下降運転中に操作スイッチから手を離すと「↓」消灯、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
非常時上昇運転 インタロックの確認			非常時上昇運転中に非常上限LS ONすると「非常上限」点灯(可動橋停止)すること。 軽故障が発生しても運転が継続すること。 重故障が発生すると運転が停止すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動作	非常時操作の確認	非常時下降運転インタロックの確認	非常時下降運転中にロープ弛み（上流側）LS ONすると「ロープ弛み（上流側）」点灯（可動橋停止）すること。ロープ弛み（下流側）LS ONすると「ロープ弛み（下流側）」点灯（可動橋停止）すること。軽故障が発生しても運転が継続すること。重故障が発生すると運転が停止すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸主電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
一般	機器・計器類共通	異音	異音が無いこと。	有・無	交換、原因調査	
計器類	電流計 (A1)	電流値	大幅な変動が無く定格電流値(主:160A)以下であること。 電流計指示値: _____ A	有・無	原因調査	
	電圧計 (V1)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (R-S)	有・無	原因調査	
	電圧計 (V1)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (S-T)	有・無	原因調査	
	電圧計 (V1)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (T-R)	有・無	原因調査	
インバータ	運転状態のモニタ	数値確認 (出力周波数)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ Hz	有・無	原因調査	
		数値確認 (出力電流)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ A	有・無	原因調査	
		数値確認 (トルク演算値)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ %	有・無	原因調査	
開閉器類	電磁接触器 (52-11)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (52-12)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (52-13)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸予備電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
一般	機器・計器類共通	異音	異音が無いこと。	有・無	交換、原因調査	
計器類	電流計 (A2)	電流値	大幅な変動が無く定格電流値(予備:75A)以下であること。 電流計指示値: _____ A	有・無	原因調査	
	電圧計 (V2)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (R-S)	有・無	原因調査	
	電圧計 (V2)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (S-T)	有・無	原因調査	
	電圧計 (V2)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (T-R)	有・無	原因調査	
インバータ	運転状態のモニタ	数値確認 (出力周波数)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ Hz	有・無	原因調査	
		数値確認 (出力電流)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ A	有・無	原因調査	
		数値確認 (トルク演算値)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ %	有・無	原因調査	
開閉器類	電磁接触器 (52-21)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (52-22)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (52-23)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸制御分電盤】②

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
一般	機器・計器類共通	異音	異音が無いこと。	有・無	交換、原因調査	
リレー類	補助リレー (X)	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	交換、原因調査	
開 閉 器	電磁接触器 (MC5)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋昇降中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
架台	全体	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
動力部	主電動機(③)	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
		温度上昇	異常な温度上昇が無いこと(触診)。	有・無	原因調査	
		電流値	通常の電流値に比べて大幅な変動が無く、定格電流値以下であること。	有・無	原因調査	
		電圧値	作動時の電圧降下が、±10%以下であること。	有・無	原因調査	
	主電動機(③)	軸受給脂	適量な油量を供給すること。	有・無	補給	
	予備電動機(④)	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
		温度上昇	異常な温度上昇が無いこと(触診)。	有・無	原因調査	
		電流値	通常の電流値に比べて大幅な変動が無く、定格電流値以下であること。	有・無	原因調査	
		電圧値	作動時の電圧降下が、±10%以下であること。	有・無	原因調査	
		軸受給脂	適量な油量を供給すること。	有・無	補給	
制動部	電磁ブレーキ (主電動機側)(⑤)	作動確認	確実に作動し、瞬時に停止すること。	有・無	調整	
	油圧押し上りブレーキ (主電動機側)(⑥)	作動確認	確実に作動し、瞬時に停止すること。	有・無	調整	
	電磁ブレーキ (予備電動機側) (⑦)	作動確認	確実に作動し、瞬時に停止すること。	有・無	調整	
	油圧押し上りブレーキ (予備電動機側) (⑧)	作動確認	確実に作動し、瞬時に停止すること。	有・無	調整	
減速装置	減速機(②)	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
		温度上昇	全揚程1往復の作動を行い、異常な温度上昇が無いこと(触診、本体)。	有・無	原因調査	
	ドラムギヤ ピニオンギヤ	異音	異音がないこと(聴診)。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 開閉装置 年点検表

<可動橋昇降中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸開閉装置】

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動力伝達部	軸受	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
		温度上昇	異常な温度上昇が無いこと(触診)。	有・無	原因調査	
動力伝達部	軸受	芯振れ	異常な芯振れがないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	ギヤカップリング (㉒)	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
		芯振れ	異常な芯振れがないこと(目視)。	有・無	原因調査	
	チェーン カップリング(㉓)	振動・異音	異常振動・異常音がないこと(触診・聴診)。 正常音(金属性の音であり、むらのない連続音)以外の音。	有・無	原因調査	
芯振れ		異常な芯振れがないこと(目視)。	有・無	原因調査		
橋体駆動部	橋体付シーブ (上流側)(㉔)	作動確認	ワイロープの動作と同時に適正に回転 していること(目視)。	有・無	調整	
	橋体付シーブ (下流側)(㉔)	作動確認	ワイロープの動作と同時に適正に回転 していること(目視)。	有・無	調整	
	転向シーブ (上流側)(㉕)	作動確認	ワイロープの動作と同時に適正に回転 していること(目視)。	有・無	調整	
	転向シーブ (下流側)(㉕)	作動確認	ワイロープの動作と同時に適正に回転 していること(目視)。	有・無	調整	
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、上流側) (㉖)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	
	サイドローラ、 軸、軸受 (橋体付、下流側) (㉖)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	
	サイドローラ、 軸、軸受 (カウンターウェイト付、上流側)(㉗)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	
	サイドローラ、 軸、軸受 (カウンターウェイト付、下流側)(㉗)	回転状態	レールに接触している時、回転すること。	有・無	補修 交換	
ケーブルバア (上流側)(㉘)	変形・損傷	著しい変形、損傷がないこと(目視)。	有・無	補修 交換	交換時期は 定期点検時に判断	
保護装置	制限開閉器(㉙)	作動状況	非常下限(-0.2m)、下限(0m)、下降減速 (0.83m)、 上限(12.8m)、非常上限(13.1m)の各位置にて 正常に作動すること。	有・無	調整	
スタンド式 開度計	開度表示	開度表示	操作盤の表示と大きな誤差ないこと (下限、上限、減速位置)。	有・無	原因を調査し 整備	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
一般	機器・計器類共通	異音	異音が無いこと。	有・無	交換、原因調査	
リレー類	補助リレー (X)	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	交換、原因調査	
タイマー	タイマー (FRT)	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	交換、原因調査	
		異音, 騒音	異常な騒音、有害な振動がないこと。	有・無	交換、原因調査	
	タイマー (BZT)	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	交換、原因調査	
		異音, 騒音	異常な騒音、有害な振動がないこと。	有・無	交換、原因調査	
	タイマー (BLT)	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	交換、原因調査	
		異音, 騒音	異常な騒音、有害な振動がないこと。	有・無	交換、原因調査	
スイッチ	押釦スイッチ	作動テスト	上昇、下降、停止の運転が正しく行えること。	有・無	原因調査	
動作	運転操作 (単独操作・ 主電動機選択)	操作準備	左岸機側操作盤の操作小扉を開いて、「機側」点灯すること。常用、単独、主電動機選択、交通規制中、船舶規制中を監視操作卓または左岸機側操作盤で選択し、「常用」、「単独」、「主電動機」、「交通規制中」、「船舶規制中」点灯すること。(以下の動作を行う前に監視操作卓で【スイッチ】の項目を点検する。P.67～68)	有・無	原因調査	
		上昇操作	【上昇】押ボタンを押し続けると「↑」点滅すること。	有・無	原因調査	
			押ボタンから手を離すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			上昇中に上限LS ONで停止、「↑」消灯、「上限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
		下降操作	【下降】押ボタンを押し続けると「↓」点滅すること。	有・無	原因調査	
			押ボタンから手を離すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			下降中に下降減速LS ONで「減速範囲」点灯すること。	有・無	原因調査	
			下降中に下限LS ONで停止、「↓」消灯、「下限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動作	運転操作 (単独操作・ 予備電動機選択)	操作準備	左岸機側操作盤の操作小扉を開いて、「機側」点灯すること。常用、単独、予備電動機選択、交通規制中、船舶規制中を監視操作卓または左岸機側操作盤で選択し、「常用」、「単独」、「予備電動機」、「交通規制中」、「船舶規制中」点灯すること。(以下の動作を行う前に監視操作卓で【スイッチ】の項目を点検する。P.67～68)	有・無	原因調査	
		上昇操作	【上昇】押ボタンを押し続けると「↑」点滅すること。	有・無	原因調査	
			押ボタンから手を離すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			上昇中に上限LS ONで停止、「↑」消灯、「上限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
		下降操作	【下降】押ボタンを押し続けると「↓」点滅すること。	有・無	原因調査	
			押ボタンから手を離すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			下降中に下降減速LS ONで「減速範囲」点灯すること。	有・無	原因調査	
			下降中に下限LS ONで停止、「↑」消灯、「下限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
	運転操作 (同時操作・ 主電動機選択)	操作準備	左岸機側操作盤の操作小扉を開いて、「機側」点灯すること。常用、同時、主電動機選択、交通規制中、船舶規制中を監視操作卓または左岸機側操作盤で選択し、「常用」、「同時」、「主電動機」、「交通規制中」、「船舶規制中」点灯すること。(以下の動作を行う前に監視操作卓で【スイッチ】の項目を点検する。P.67～68)	有・無	原因調査	
		上昇操作	【上昇】押ボタンを押すと「↑」点滅すること。	有・無	原因調査	
			【停止】押ボタンを押すと、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			上昇中に上限LS ONで停止、「↑」消灯、「上限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
		下降操作	【下降】押ボタンを押すと「↓」点滅すること。	有・無	原因調査	
			【停止】押ボタンを押すと、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
下降中に下降減速LS ONで「減速範囲」点灯すること。	有・無		原因調査			
下降中に下限LS ONで停止、「↓」消灯、「下限」、「停止」点灯すること。	有・無		原因調査			

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動作	運転操作 (同時操作・ 予備電動機選択)	操作準備	左岸機側操作盤の操作小扉を開いて、「機側」点灯すること。常用、同時、予備電動機選択、交通規制中、船舶規制中を監視操作卓または左岸機側操作盤で選択し、「常用」、「同時」、「予備電動機」、「交通規制中」、「船舶規制中」点灯すること。(以下の動作を行う前に監視操作卓で【スイッチ】の項目を点検する。P. 67～68)	有・無	原因調査	
		上昇操作	【上昇】押ボタンを押すと「↑」点滅すること。	有・無	原因調査	
			【停止】押ボタンを押すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			上昇中に上限LS ONで停止、「↑」消灯、「上限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
		下降操作	【下降】押ボタンを押すと「↓」点滅すること。	有・無	原因調査	
			【停止】押ボタンを押すと停止し、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
			下降中に下降減速LS ONで「減速範囲」点灯すること。	有・無	原因調査	
			下降中に下限LS ONで停止、「↓」消灯、「下限」、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
	動作確認	運転チャイム	可動橋を上昇または下降運転すると「↑」または「↓」点滅すること。	有・無	原因調査	
		上昇押釦パルス化 1	「上昇」押釦を 2 秒未満押し続けるとPLC内部リレー (M80) 2 秒間のみONすること。	有・無	原因調査	
		上昇押釦パルス化 2	「上昇」押釦を 2 秒以上 1 0 秒未満押し続けるとPLC内部リレー (M80) 2 秒間のみONすること。	有・無	原因調査	
		下降押釦パルス化 1	「下降」押釦を 2 秒未満押し続けるとPLC内部リレー (M81) 2 秒間のみONすること。	有・無	原因調査	
		下降押釦パルス化 2	「下降」押釦を 2 秒以上 1 0 秒未満押し続けるとPLC内部リレー (M81) 2 秒間のみONすること。	有・無	原因調査	
	模擬テスト	操作指令異常 (上昇押釦異常)	「上昇」押釦を 1 0 秒以上押し続けると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査	
		操作指令異常 (下降押釦異常)	「下降」押釦を 1 0 秒以上押し続けると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査	
		操作指令異常 (主電動機開過動作)	主電動機の開過動作制限を模擬的に発生させると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査	
		操作指令異常 (主電動機閉過動作)	主電動機の閉過動作制限を模擬的に発生させると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動作	模擬テスト	操作指令異常 (予備電動機開過動作)	予備電動機の開過動作制限を模擬的に発生させると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査	
		操作指令異常 (予備電動機閉過動作)	予備電動機の閉過動作制限を模擬的に発生させると「操作指令異常」表示灯点灯すること。	有・無	原因調査	
	インタロックの確認	昇降操作 インタロック	可動橋上昇中に【下降】押ボタンONしても上昇運転継続すること。 可動橋下降中に【上昇】押ボタンONしても下降運転継続すること。	有・無	原因調査	
		操作小扉 インタロック	可動橋上昇または下降運転中に操作小扉を閉じると、「↑」または「↓」消灯、「管理室」「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
		非常時操作 インタロック	可動橋上昇または下降運転中に非常時操作切替信号【非常時】ONすると「↑」または「↓」消灯、「非常時操作」点滅、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
		電動機切替 インタロック	可動橋上昇または下降運転中に、電動機切替信号【主電動機】/【予備電動機】ONすると「↑」または「↓」消灯、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
	インタロックの確認	操作モード切替 インタロック	可動橋上昇または下降運転中に、操作モード切替信号【点検】ONすると「↑」または「↓」消灯、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
		点検操作 インタロック	操作モード切替スイッチ【点検】選択時に、【上昇】または【下降】押ボタンONすると可動橋の運転が出来ないこと。	有・無	原因調査	
		交通規制中 インタロック	交通規制中信号OFF時に【上昇】または【下降】押ボタンONすると可動橋の運転が出来ないこと。	有・無	原因調査	
		船舶規制中 インタロック	船舶規制中信号OFF時に【上昇】または【下降】押ボタンONすると可動橋の運転が出来ないこと。	有・無	原因調査	
		フック開閉 インタロック	フック開信号ON時に【上昇】または【下降】押ボタンONすると可動橋の運転が可能なこと。 フック閉信号ON時に【上昇】または【下降】押ボタンONすると可動橋の運転が出来ないこと。	有・無	原因調査	
		上昇操作 インタロック	トグルスイッチで【切】選択時、上昇運転中に非常上限を発生させると警報が発報せず、可動橋が停止しないこと。	有・無	原因調査	
		下降操作 インタロック	トグルスイッチで【切】選択時、下降運転中にロープ弛みを発生させると警報が発報せず、可動橋が停止しないこと。	有・無	原因調査	
		非常時操作の確認	操作選択	非常時操作切替信号【非常時】ONにすると「非常時操作」点灯すること。(PLCのCPUを「STOP」にしておく)	有・無	原因調査
	非常時上昇操作		非常時操作切替スイッチ【上昇】選択すると「↑」点滅、「停止」消灯すること。 上昇運転中に操作スイッチから手を離すと「↑」消灯、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
	非常時下降操作		非常時操作切替スイッチ【下降】選択すると「↓」点滅、「停止」消灯すること。 下降運転中に操作スイッチから手を離すと「↓」消灯、「停止」点灯すること。	有・無	原因調査	
	非常時上昇運転 インタロックの確認		非常時上昇運転中に非常上限LS ONすると「非常上限」点灯(可動橋停止)すること。 軽故障が発生しても運転が継続すること。 重故障が発生すると運転が停止すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動作	非常時操作の確認	非常時下降運転 インタロックの確認	非常時下降運転中に ロープ弛み（上流側）LS ONすると「ロープ弛み（上流側）」点灯（可動橋停止）すること。 ロープ弛み（下流側）LS ONすると「ロープ弛み（下流側）」点灯（可動橋停止）すること。 軽故障が発生しても運転が継続すること。 重故障が発生すると運転が停止すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸主電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
一般	機器・計器類共通	異音	異音が無いこと。	有・無	交換、原因調査	
計器類	電流計 (A1)	電流値	大幅な変動が無く定格電流値(主:160A)以下であること。 電流計指示値: _____ A	有・無	原因調査	
	電圧計 (V1)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (R-S)	有・無	原因調査	
	電圧計 (V1)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (S-T)	有・無	原因調査	
	電圧計 (V1)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (T-R)	有・無	原因調査	
インバータ	運転状態のモニタ	数値確認 (出力周波数)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ Hz	有・無	原因調査	
		数値確認 (出力電流)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ A	有・無	原因調査	
		数値確認 (トルク演算値)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ %	有・無	原因調査	
開閉器類	電磁接触器 (52-11)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (52-12)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (52-13)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸予備電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
一般	機器・計器類共通	異音	異音が無いこと。	有・無	交換、原因調査	
計器類	電流計 (A2)	電流値	大幅な変動が無く定格電流値(予備:75A)以下であること。 電流計指示値: _____ A	有・無	原因調査	
	電圧計 (V2)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (R-S)	有・無	原因調査	
	電圧計 (V2)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (S-T)	有・無	原因調査	
	電圧計 (V2)	電圧値	運転時の電圧が定格電圧の±10%(396~484V)以内であること。 電圧計指示値: _____ V (T-R)	有・無	原因調査	
インバータ	運転状態のモニタ	数値確認 (出力周波数)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ Hz	有・無	原因調査	
		数値確認 (出力電流)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ A	有・無	原因調査	
		数値確認 (トルク演算値)	7セグモニタの値を確認してください。 指示値: _____ %	有・無	原因調査	
開閉器類	電磁接触器 (52-21)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (52-22)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (52-23)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸制御分電盤】②

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
一般	機器・計器類共通	異音	異音が無いこと。	有・無	交換、原因調査	
リレー類	補助リレー (X)	動作状態	異常なく作動すること。	有・無	交換、原因調査	
開閉器類	電磁接触器 (MC5)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (MC7)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (MC8)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (MC19L)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	
	電磁接触器 (MC19R)	異音, 騒音	作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に数回入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	有・無	交換、原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【監視操作卓】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
スイッチ	押釦スイッチ	非常用発電機 「運転」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		非常用発電機 「停止」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		電動機選択 「主電動機」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		電動機選択 「予備電動機」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		「警報停止」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		「リセット」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		「ランプテスト」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		道路情報板 「通行止」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		歩行者情報板 「進入禁止」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		交通信号機 「青」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		交通信号機 「赤」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		交通遮断機 「開」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		交通遮断機 「入側閉」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		交通遮断機 「出側閉」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		船舶信号灯 「赤」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		船舶信号灯 「上流側青」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		船舶信号灯 「下流側青」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
可動橋操作 「上昇」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査			

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【監視操作卓】②

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
スイッチ	押釦スイッチ	可動橋操作 「停止」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		可動橋操作 「下降」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		回転灯(運転) 「自動」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		回転灯(運転) 「手動点灯」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		回転灯(運転不能) 「点灯」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
		拡声装置 「強制吹鳴」	スイッチのON/OFFで正常に動作すること。	有・無	原因調査	
動作	模擬テスト	制御電源主幹	MCCB01を投入し、テスターにて電圧計測を行う。規定電圧(99~121V)以内であること。	有・無	原因調査	
		上昇押釦 パルス化1	「上昇」押釦を2秒未満押し続けるとPLC内部リレー(M80)2秒間のみONすること。	有・無	原因調査	
		上昇押釦 パルス化2	「上昇」押釦を2秒以上10秒未満押し続けるとPLC内部リレー(M80)2秒間のみONすること。	有・無	原因調査	
		下降押釦 パルス化1	「下降」押釦を2秒未満押し続けるとPLC内部リレー(M81)2秒間のみONすること。	有・無	原因調査	
		下降押釦 パルス化2	「下降」押釦を2秒以上10秒未満押し続けるとPLC内部リレー(M81)2秒間のみONすること。	有・無	原因調査	
		操作指令異常 (上昇押釦異常)	「上昇」押釦を10秒以上押し続けるとエラーメッセージを表示すること。	有・無	原因調査	
		操作指令異常 (下降押釦異常)	「下降」押釦を10秒以上押し続けるとエラーメッセージを表示すること。	有・無	原因調査	
		上昇指令 状態監視	全体表示画面で、上昇指令出力中、「上昇指令」点灯(黄色)すること	有・無	原因調査	
		上昇押釦 状態監視	全体表示画面で、「上昇」押釦を押している間、「上昇釦」点灯(黄色)すること。	有・無	原因調査	
		停止押釦 状態監視	全体表示画面で、「停止」押釦を押している間、「停止釦」点灯(黄色)すること。	有・無	原因調査	
		下降押釦 状態監視	全体表示画面で、「下降」押釦を押している間、「下降釦」点灯(黄色)すること。	有・無	原因調査	
		下降指令 状態監視	全体表示画面で、下降指令出力中、「下降指令」点灯(黄色)すること。	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<可動橋昇降中>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【監視操作卓】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
動作	模擬テスト	交通信号機	交通遮断機【閉】の状態では交通信号機押釦ONしても操作が出来ないこと。 船舶信号灯【青】の状態では交通信号機押釦ONしても操作が出来ないこと。 可動橋が【下限】以外の状態では交通信号機押釦ONしても操作が出来ないこと。	有・無	原因調査	
		交通遮断機	交通信号機【青】の状態では交通遮断機押釦ONしても操作が出来ないこと。 船舶信号灯【青】の状態では交通遮断機押釦ONしても操作が出来ないこと。 可動橋が【下限】以外の状態では交通遮断機押釦ONしても操作が出来ないこと。 交通遮断機【開】の状態では【出側閉】押釦ONしても操作が出来ないこと。	有・無	原因調査	
		船舶信号灯	交通信号機【青】の状態では船舶信号灯押釦ONしても操作が出来ないこと。 交通遮断機【閉】の状態では船舶信号灯押釦ONしても操作が出来ないこと。 可動橋が【上限】以外の状態では船舶信号灯押釦ONしても操作が出来ないこと。	有・無	原因調査	
		可動橋操作	交通信号機【青】の状態では押釦ONしても操作が出来ないこと。 交通遮断機【開】の状態では押釦ONしても操作が出来ないこと。 船舶信号灯【青】の状態では押釦ONしても操作が出来ないこと。	有・無	原因調査	
		故障表示	故障発生時、画面最上部に故障の発生場所が表示されること。	有・無	原因調査	
		日時表示	画面右上部に現在の日時が表示されること	有・無	原因調査	
		全体表示画面ボタン	表示中の画面が閉じ、全体表示画面が表示されること	有・無	原因調査	
		左岸表示画面ボタン	表示中の画面が閉じ、左岸表示画面が表示されること	有・無	原因調査	
		右岸表示画面ボタン	表示中の画面が閉じ、右岸表示画面が表示されること	有・無	原因調査	
		電源監視ボタン	表示中の画面が閉じ、電源監視画面が表示されること	有・無	原因調査	
		故障一覧ボタン	表示中の画面が閉じ、左岸故障一覧画面が表示されること	有・無	原因調査	
		メンテナンス画面	表示中の画面が閉じ、メンテナンス画面が表示されること	有・無	原因調査	
		故障履歴画面ボタン	表示中の画面が閉じ、故障履歴画面が表示されること	有・無	原因調査	
		PLC監視画面ボタン	表示中の画面が閉じ、PLC監視画面が表示されること	有・無	原因調査	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などが無いこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みが無いこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸主電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などが無いこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みが無いこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸予備電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などが無いこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みが無いこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸制御分電盤】②

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などが無いこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みが無いこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【右岸照明分電盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などが無いこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みが無いこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸機側操作盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などが無いこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みが無いこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸主電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などが無いこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みが無いこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸予備電動機盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などが無いこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みが無いこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【左岸制御分電盤】②

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などがないこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みがないこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

	: 年次点検
	: 総合調整
	: 整備業務

【左岸照明分電盤】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などがないこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みがないこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検表

<電源 断>

: 年次点検

: 総合調整

: 整備業務

【監視操作卓】⑳

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
盤	盤全般	内部乾燥状態	扉を開けて、目視・指触等により乾燥していること。	有・無	乾燥	
		絶縁抵抗値	500Vメガで1MΩ以上のこと。	有・無	発生原因調査、調整	
		バッテリー	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(4年)以上で交換。	有・無	交換	4年1回交換
		バックライト	前回の交換時期よりメーカー推奨の交換時期(5年)以上で交換。	有・無	交換	5年1回交換
一般	機器・計器類共通	機器の取付状態・汚れ・変色・端子の緩み	汚れ・変色・端子の緩みが無いこと。	有・無	交換、原因調査	
配線	盤内配線	配線状態	熱等で被覆が傷んでいないこと。	有・無	補修、交換	
		端子締付状態	緩みがなければ良い。端子口にて振動、錆等による断線がなければ良い。電線を軽く引張る等して調べる。	有・無	増締、補修	
	端子台	腐食	発錆、変形などがないこと。	有・無	交換	
	端子台取付ボルト	緩み・脱落	緩みがないこと。	有・無	増締	

加賀須野橋可動橋 電気設備 年点検

【受配電設備、非常用発電設備】（停電）⑩, ⑱ ※3年毎

点検の概要を以下に示します。

点検・測定・試験項目

1. 方向性高圧地絡継電器の動作 ※¹
2. 過電流継電器の作動 ※¹
3. 高圧機器廻りの塵芥 ※²
4. しゃ断器、開閉器の操作機構
5. 電圧計、電流計の不備
6. 各種表示灯
7. 高圧関係絶縁抵抗 ※¹
8. 接地抵抗測定 ※¹
9. 低圧関係絶縁抵抗 ※¹
10. 非常用予備発電装置 ※¹
11. キュービクル内接地線布設状態
12. ジスコン操作棒の有無
13. ヒューズの予備の有無
14. 危険標識の有無
15. 消火器の有無

※¹ 参考資料 「電気工作物定期点検試験報告書」 を参照下さい。

※² 清掃を実施して下さい。

(1/5)

平成 年 月 日

年次点検報告書

お客さま名

参考資料

様

点検実施日	平成 年 月 日 曜日	天候	
事業所名			
点検実施者			

点検の概要

点検・測定・試験項目		結果	記事
1	電気設備の改修		(2/5) P
2	受配電設備点検		(3/5) P
3	超音波式放電検知器測定		(4/5) P-1
4	絶縁監視装置動作試験		(4/5) P-2
5	開閉器点検		(4/5) P-3
6	発電装置点検		(5/5) P
7			
(以下の項目は必要のつど実施)			
8	変圧器・開閉器・しゃ断器内部点検		
9	保護継電器動作特性試験		
10	計器校正試験		
11	絶縁油酸化試験		
12	絶縁油耐圧試験		
13	発電機機関保護継電器試験		
14	その他		

(2 / 5)

電気設備の改修について**参考資料**

電気設備を点検しましたところ、下記のとおり電気設備の技術基準
他、電気工作物の保安に関する法令等に適合していないおそれがある事
項または改善を必要とする事項がありました。もしこれらの設備をこ
のまま使用されますと、感電・火災・停電等の事故になるおそれがあり
ますので改修のご手配をお願いいたします。

場所・不良の内容・改修改善事項	改修年月日

(3/5)

電気設備点検票

参考資料

対象電気工作物		主眼点	点検結果
受配電設備	引込線 構築物 電線及び支持物	<ul style="list-style-type: none"> 線間間隔・他物との距離・被服等の損傷 弛度・高さ・電柱、腕金、碍子、支線 腐食 	
	高圧ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> 端末、接続箇所、布設部の損傷・劣化 標識の有無・他物との離隔・アース 	
	母線	<ul style="list-style-type: none"> 線間間隔・他物との距離・被服等の損傷 	
	開閉器 遮断器・遮断器 電力ヒューズ	<ul style="list-style-type: none"> 過熱・変色・漏油・汚損・異音・異臭 開閉表示・操作具合・接地線接続部 内部点検（操作具合・接触情况等） 	
	変圧器	<ul style="list-style-type: none"> 過熱・変色・漏油・汚損・異音・異臭 呼吸装置・接続箇所、方法 ブッシング・容量の適否・アース P C B使用時の表示の有無 内部点検 （タップ板等のゆるみ・油色・油量等） 	
	電力用コンデンサ	<ul style="list-style-type: none"> 過熱・変色・漏油・異音・接続 ブッシング・容量の適否・アース P C B使用時の表示の有無 	
	計器用変成器	<ul style="list-style-type: none"> 過熱・変色・汚損・異音・異臭・劣化 アース 	
	避雷器	<ul style="list-style-type: none"> 損傷・亀裂・汚損・アース 	
	受電盤等	<ul style="list-style-type: none"> 本体・計器・継電器・過熱、その他 操作部等の損傷・表示灯・ヒューズ アース 	
	受電室 （キュービクル）	<ul style="list-style-type: none"> 雨水進入・点検困難・小動物の侵入口等 	
電気使用設備	危険標識 柵、施錠等	<ul style="list-style-type: none"> 破損・腐食・柵の高さ、目のあらさ 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 操作用具の有無、異常・蓄電池 ヒューズ等保守用品の有無 	
	電動機	<ul style="list-style-type: none"> 過熱・損傷・異音・振動・給油状況 制御装置、その他の異常・ヒューズ アース 	
	電熱装置 接機	<ul style="list-style-type: none"> 過熱・損傷・異音・異臭 接続部のゆるみ・可燃物との距離 ヒューズ・アース 	
絶縁監視装置	配線器 線具	<ul style="list-style-type: none"> 配線の種別・方法・太さ・適正配線 過熱・損傷・劣化・離隔・ヒューズ アース 	
	小型機器 照明	<ul style="list-style-type: none"> 過熱・損傷・異音・異臭 ビニールコード使用・不点・照明効果 出退表示灯回路・ヒューズ・アース 	
非常用予備発電装置		<ul style="list-style-type: none"> 機器の損傷、異音・異臭 配線、配管の損傷、ゆるみ・ランプの点灯 油漏れ・水漏れ・燃料 発電機の発電状況・商用電源との切替機構 	

(4/5)

電気設備の測定・試験票

参考資料

1. 超音波式放電検知機（リークホン）測定

測定範囲	発信音	検出ランプ の点灯	測定結果	備考	
■使用測定機器					
機器名	製造者名	型式	定格	製造番号	製造年

2. 絶縁監視装置動作試験

通信装置			漏電検出装置		
通信方式	製造者	型式	漏電監視装置	製造者	零相検出器
回路名		検出レベル (50mA±10%)	検出遅延 時間 (30秒)	試験釦による 動作試験	結果

3. 開閉器のトリップコイル点検

絶縁抵抗値 (MΩ)	導通の有無	試験結果			
■使用測定機器					
機器名	製造者名	型式	定格	製造番号	製造年

(5/5)

非常用予備発電装置点検表

参考資料

仕様	発電装置	充電装置	
製造者名			
型式			
容量			
製造年月			
製造番号			

始動前点検		結果	
自動起動盤表示灯の点灯	制御	有	無
	商用	有	無
	充電	有	無
	故障	有	無
原動機	潤滑油、冷却水、燃料漏洩の有無		有 無
始動装置	充電装置	電圧 (V)	
		電流 (A)	
	蓄電池端子部	良	否
運転記録		結果	
自動起動盤	運転方法	自動	手動
	切替時間 (秒)		
原動機	回転数 (rpm)		
	冷却水温度 (°C)		
	潤滑油温度 (°C)		
	潤滑油圧力 (MPa)		
発電機	電圧 (V)	R-S	
		S-T	
		T-R	
	電流 (A)	R	
		S	
		T	
周波数 (Hz)			
停止後の状況		結果	
原動機	燃料カット	良	否
	燃料：タンクレベル	残量：	
充電装置	充電方式	浮動	均等
	電圧 (V)		
	電流 (A)		
装置全体 外観点検		良	否
備考			

加賀須野橋可動橋 橋梁本体 年次点検

標準仕様(目視)

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
上部構造	箱桁 (A)	さび・腐食	さび・腐食がないこと(目視)	有・無		
		亀裂・損傷	亀裂・損傷がないこと(目視)	有・無		
		緩み・脱落・折損等	緩み・脱落・折損等がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		塗膜の剥離・損傷	塗膜の剥離・損傷がないこと(目視)	有・無		
		遊間の異常	遊間の異常がないこと(目視)	有・無		
		漏水・滞水	漏水・滞水がないこと(目視)	有・無		
		異常な音・振動	異常な音・振動がないこと(目視)	有・無		
	変形・欠損	変形・欠損がないこと(目視)	有・無			
	横桁 (B)	さび・腐食	さび・腐食がないこと(目視)	有・無		
		亀裂・損傷	亀裂・損傷がないこと(目視)	有・無		
		緩み・脱落・折損等	緩み・脱落・折損等がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		塗膜の剥離・損傷	塗膜の剥離・損傷がないこと(目視)	有・無		
		遊間の異常	遊間の異常がないこと(目視)	有・無		
		漏水・滞水	漏水・滞水がないこと(目視)	有・無		
変形・欠損		変形・欠損がないこと(目視)	有・無			
支承部	支承本体 (C)	腐食	腐食がないこと(目視)	有・無		
		亀裂	亀裂がないこと(目視)	有・無		
		防食機能の劣化	防食機能が劣化していないこと(目視)	有・無		
		漏水・滞水	漏水・滞水していないこと(目視)	有・無		
		変形・欠損	変形・欠損がないこと(目視)	有・無		
		沈下・傾斜・移動	沈下・傾斜・移動がないこと(目視)	有・無		
		支承機能障害	支承機能障害がないこと(目視)	有・無		
	アンカー ボルト (D)	腐食	腐食がないこと(目視)	有・無		
		亀裂	亀裂がないこと(目視)	有・無		
		緩み・脱落	緩み・脱落がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		防食機能の劣化	防食機能の劣化がないこと(目視)	有・無		
		変形・欠損	変形・欠損がないこと(目視)	有・無		
	落橋防止装置 (E)	破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		漏水・滞水	漏水・滞水がないこと(目視)	有・無		
		変形・欠損	変形・欠損がないこと(目視)	有・無		
落橋防止装置の機能障害		落橋防止装置に機能障害がないこと(目視)	有・無			

加賀須野橋可動橋 橋梁本体 年次点検

標準仕様(目視)

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
路面	伸縮装置 (F)	腐食	腐食がないこと(目視)	有・無		
		亀裂	亀裂がないこと(目視)	有・無		
		緩み・脱落	緩み・脱落がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		防食機能の劣化	防食機能の劣化がないこと(目視)	有・無		
	高欄 (G)	腐食	腐食がないこと(目視)	有・無		
		亀裂	亀裂がないこと(目視)	有・無		
		緩み・脱落	緩み・脱落がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		防食機能の劣化	防食機能の劣化がないこと(目視)	有・無		
	舗装 (H)	亀裂	亀裂がないこと(目視)	有・無		
路面の凹凸		路面の凹凸がないこと(目視)	有・無			
排水施設	鋼製排水溝 (I)	腐食	腐食がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		防食機能の劣化	防食機能の劣化がないこと(目視)	有・無		
		漏水・滞水	漏水・滞水がないこと(目視)	有・無		
		変形・欠損	変形・欠損がないこと(目視)	有・無		
		土砂詰まり	土砂詰まりがないこと(目視)	有・無		
	排水管 (J)	腐食	腐食がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		防食機能の劣化	防食機能の劣化がないこと(目視)	有・無		
		漏水・滞水	漏水・滞水がないこと(目視)	有・無		
		変形・欠損	変形・欠損がないこと(目視)	有・無		
		土砂詰まり	土砂詰まりがないこと(目視)	有・無		
	フレキシブルチューブ (K)	腐食	腐食がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		防食機能の劣化	防食機能の劣化がないこと(目視)	有・無		
		漏水・滞水	漏水・滞水がないこと(目視)	有・無		
		変形・欠損	変形・欠損がないこと(目視)	有・無		
		土砂詰まり	土砂詰まりがないこと(目視)	有・無		

加賀須野橋可動橋 橋梁本体 年次点検

標準仕様(目視)

区分	項目	点検内容	判定方法	異常の有無	処置 (保全整備)	備考
階段施設	螺旋階段 (L)	さび・腐食	さび・腐食がないこと(目視)	有・無		
		亀裂・損傷	亀裂がないこと(目視)	有・無		
		緩み・脱落・折損等	緩み・脱落・折損等がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		塗膜の剥離・損傷	塗膜の剥離・損傷がないこと(目視)	有・無		
		漏水・滞水	漏水・滞水がないこと(目視)	有・無		
		異常な音・振動	異常な音・振動がないこと(目視)	有・無		
		変形・欠損	変形・欠損がないこと(目視)	有・無		
	歩廊 (M)	さび・腐食	さび・腐食がないこと(目視)	有・無		
		亀裂・損傷	亀裂がないこと(目視)	有・無		
		緩み・脱落・折損等	緩み・脱落・折損等がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		塗膜の剥離・損傷	塗膜の剥離・損傷がないこと(目視)	有・無		
		漏水・滞水	漏水・滞水がないこと(目視)	有・無		
		異常な音・振動	異常な音・振動がないこと(目視)	有・無		
		変形・欠損	変形・欠損がないこと(目視)	有・無		
	防護柵 (N)	さび・腐食	さび・腐食がないこと(目視)	有・無		
		亀裂・損傷	亀裂がないこと(目視)	有・無		
		緩み・脱落・折損等	緩み・脱落・折損等がないこと(目視)	有・無		
		破断	破断がないこと(目視)	有・無		
		塗膜の剥離・損傷	塗膜の剥離・損傷がないこと(目視)	有・無		
		漏水・滞水	漏水・滞水がないこと(目視)	有・無		
		異常な音・振動	異常な音・振動がないこと(目視)	有・無		
		変形・欠損	変形・欠損がないこと(目視)	有・無		

加 賀 須 野 橋 可 動 橋 月 点 検 表

点 検 日		年 月 日～ 日		点 検 者 名		印		事 業 者 名					
区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	点 検 方 法	点 検 結 果								判 定 方 法	備 考
				左岸上流	左岸下流	右岸上流	右岸下流	良	不	良	不		
全 般	設 備 全 般	清 掃 状 態	目 視									ひどい汚れや油等の付着がないこと。	
	塗 装	損 傷 ・ 劣 化	目 視									亀裂、ふくれ、剥離、発錆、劣化がないこと	
構 造 体	構 造 全 体	振 動 ・ 異 音	触 聴 診 診									有害な振動・異常音がないこと。	
動 力 部	主 電 動 機	振 動 ・ 異 音	触 聴 診 診									有害な振動・異常音がないこと。	
		温 度 上 昇	触 診									異常な温度上昇が無いこと。	
	予 備 電 動 機	振 動 ・ 異 音	触 聴 診 診									有害な振動・異常音がないこと。	
		温 度 上 昇	触 診									異常な温度上昇が無いこと。	
制 動 部	電 磁 ブレーキ 油 圧 押 上 ブレーキ	作 動 確 認	動 作 確 認									確実に作動し、瞬時に停止すること。	
		油 漏 れ	目 視									油漏れがないこと。	
		作 動 油 量	目 視									油面計の規定内であること。	
		潤 滑 油	目 視									劣化していないこと。	
減 速 装 置	減 速 機	振 動 ・ 異 音	触 聴 診 診									有害な振動・異常音がないこと。	
		温 度 上 昇	触 診									全揚程1往復の作動を行い、50℃以内であること。	
		油 漏 れ	目 視									油漏れがないこと。	
		潤 滑 油 量	目 視									油面計の規定内であること。	
		潤 滑 油 劣 化	目 視									劣化していないこと。	
	ド ラ ム ギ ヤ ピ ニ オ ン ギ ヤ	異 音	聴 診									異音がないこと。	
動 力 伝 達 部	軸 受	振 動 ・ 異 音	触 聴 診 診									有害な振動・異常音がないこと。	
		ギヤカップリング チェーンカップリング	振 動 ・ 異 音	触 聴 診 診								有害な振動・異常音がないこと。	
		油 量	目 視									適量の油量が供給されていること。	
駆 動 部	ワイヤーロープ	ごみ・異物の付着	目 視								ごみ・砂塵等がロープに付着していないこと。		
保 護 装 置	ワイヤーロープ 端 末 調 整 装 置	ロ ッ ク ナ ッ ト	目 視									緩みがないこと。	
		油 量	目 視									適量の油量が供給されていること。	
休 止 装 置	休 止 装 置	油 量	目 視								適量の油量が供給されていること。		
開 度 計	全 般	清 掃 状 態	目 視									ひどい汚れや油等の付着がないこと。	
	表 示 部	く も り	目 視									前面透視板の透明度が良好であればよい	
動 力 制 御 盤、 制 御 分 電 盤、 照 明 分 電 盤、 監 視 操 作 卓	盤 全 般	清 掃 状 態	目 視									窓ガラス等の汚れ、又は破損がなければ良い。鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	
		発 錆、塗 装 状 況	目 視									鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	
		扉 の 施 錠 状 況	動 作 確 認									扉の施錠に支障がないこと。	
	機 器 類 共 通	機 器 の 取 付 状 態 ・ 汚 れ ・ 変 色 ・ 端 子 の ゆ る み	目 視 触 診									汚れ・変色・端子にゆるみがないこと。	
		異 音	聴 診									異音が無いこと。	
	電 流 計	電 流 値	目 視									大幅な変動が無く定格電流値(主:147)以下であること。	
	電 圧 計	電 圧 値	目 視									運転時の電圧が定格電圧の±10%以内であること	
	電 磁 接 触 器	動 作 状 態	動 作 確 認									異常なく作動すること。	
		異 音 ・ 騒 音	聴 診									作動時にうなり音等の異常音(ブザーのような)がなければ良い。投入時に回数入り切りの振動をしてから作動状態に入るような場合は異常である。	
	漏 電 継 電 器	作 動 テ ス ト	動 作 確 認									テストボタンを押して作動すれば良い。	
	タ イ マ ー	設 定 値 確 認	目 視									図面通りの設定値であること	
	電 源 ユ ニ ッ ト	電 源 端 子 部 の 電 圧 確 認	測 定									メーカー推奨範囲(AC85～132V)以内であること。	
	タ ッ チ パ ネ ル	表 示 が 見 え に く く ない か	目 視									表示が読めて異常がないこと。	
切 替 ス イ ッ チ	作 動 テ ス ト	動 作 確 認 目 視									切替がスムーズに行えれば良い。		
表 示 灯	ラ ンプ テ ス ト	動 作 確 認 目 視									表示状態が良好であること。		

加賀須野橋可動橋月点検表

点検日		年 月 日～ 日		点検者名		印		事業者名	
区分	点検項目	点検内容	点検方法	点検結果				判定方法	備考
				左岸		右岸			
				良	不良	良	不良		
規則設備	信号機	清掃状態	目視					点灯部の汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	
		発錆、塗装状況	目視					鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	
		動作状況	動作確認					赤信号、青信号が確実に点灯すること。	
	交通遮断機	清掃状態	目視					汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	
		発錆、塗装状況	目視					鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	
		グリース給脂状況	目視					歯車歯面にグリースが適正に給脂されていること。	
	回転灯	動作状態	動作確認					開閉操作が確実にできること。 開閉の停止位置が適切であること。	
		清掃状態	目視					カバー等の汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	
	橋梁灯	動作状態	動作確認					確実に動作すること。	
		清掃状態	目視					ガラス等の汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	
	歩行者情報板	動作状態	動作確認					確実に動作すること。	
		発錆、塗装状況	目視					鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	
表示状態		目視					表示が読めて文字の欠け等の異常がないこと。		
監視設備	巡回カメラ	清掃状態	目視					レンズ等の汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	
		発錆、塗装状況	目視					鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	
		動作状態	動作確認					異常なく作動すること。	
	ワイパー	動作確認					異常な騒音、有害な振動がないこと。		
	固定カメラ	清掃状態	目視					レンズ等の汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	
発錆、塗装状況		目視					鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。		
監視モニタ	表示状態	目視					表示が読めて文字の欠け等の異常がないこと。 カメラ映像が問題なく表示されていること。		
設放備送	スピーカ	清掃状態	目視					汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	
		発錆、塗装状況	目視					鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	
		動作状態	動作確認					確実に音声が出力されること。	
風速計	風向風速発信器	破損状態	目視					破損がなければ良い。鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	
	風向風速受信機	動作状態	動作確認					実際の風向・風速と相違がないこと。	
	ペーパーレス記録計	動作状態	動作確認					正常に表示、記録がされていること。	
高圧受配電盤	全般	清掃状態	目視					窓ガラス等の汚れ、又は破損がなければ良い。 鳥、虫の巣、その他ゴミ等がなければ良い。	
		発錆、塗装状況	目視					鋼板表面に塗膜の剥れ及び腐食がないこと。	
		扉の施錠状況	動作確認					扉の施錠に支障がないこと。	
	機器・計器類共通	機器の取付状態・ 汚れ・変色・端子のゆるみ	目視					汚れ・変色・端子のゆるみがないこと。	
		異音	聴診					異音がないこと。	
電流計	電流値	目視					大幅な変動が無く定格電流値(350A)以下であること		
電圧計	電圧値	目視					運転時の電圧が定格電圧の±10%以内であること		
エンジン	燃料	絞め付け状態	目視					緩みがないこと。	
		燃料漏れ	目視					燃料漏れがないこと。	
		油溜め	目視					油溜めに油が溜まっていないこと。	
		ドレン	目視					ドレン抜きを行う。	
	潤滑油	燃料噴射弁	目視					メーカー相談	
		油の汚れ	目視					汚れがないこと。	
	冷却水	油の量	目視					油漏れがないこと。	
		水の量	目視					冷却水に漏れがないこと。	
油水分離器	ドレン	目視					ドレン抜きを行う。		
エアクリーナ	エレメント	目視					エレメント交換を行う。		